

令和6年度
阪神南ふるさとづくり応援事業

事例集



兵庫県阪神南県民センター

【大阪・関西万博に向けた交流促進支援事業】 8件

番号	市	事業名	団体名	ページ
A-1	尼崎市	第22回契沖顕彰短歌大会	契沖の会	1
A-2	尼崎市	「ジャズのまち塚口」で観光魅力発信・交流促進事業	塚口ジャズ実行委員会	4
A-3	尼崎市	尼崎商工会議所青年部30周年事業 (尼博Fes～尼崎の魅力とSoulを世界に発信～)	尼崎商工会議所青年部	7
A-4	西宮市	"海の甲子園"ユースセーリングカップ	海の甲子園実行委員会	11
A-5	西宮市	甲子園浜マリンスポーツ体験フェスティバル2024	甲子園浜マリンスポーツ体験フェスティバル2024実行委員会	13
A-6	西宮市	「もうすぐ大阪万博！兵庫県フィールドパビリオン」と 「ひょうごウクライナ創造的復興支援」	絵本とお歌の会	15
A-7	西宮市	「沿線まちなみさんぽ」 ～JRおよび西宮市の周年事業との連携事業～	西宮まちなみ発見倶楽部	17
A-8	西宮市	西宮の日本酒振興プロジェクト	西宮日本酒振興連絡会	21

【地域活動支援事業】 34件

番号	市	事業名	団体名	ページ
B-1	尼崎市	自主防災組織による防災訓練と炊き出し訓練	武庫第6コミュニティ委員会	24
B-2	尼崎市	都市農地を活用した地域コミュニティ活性化事業	園北ファーム	26
B-3	尼崎市	いちゃりばちょーでー（出会えば兄弟）	NPO法人関西沖縄文化研究会	29
B-4	尼崎市	園田チョウコドモも会 花火大会	園田チョウコドモも会	31
B-5	尼崎市	武庫川髭の渡しコスモス園	髭の渡し花咲き会	33
B-6	尼崎市	おだ夏祭り2024	小田会	35
B-7	尼崎市	令和6年 貴布禰神社夏季大祭 だんじり祭り（だんじり祭り体験型親子イベント）	貴布禰太鼓地車保存会	38
B-8	西宮市	相続、空き家・空き地の未然対策による持続可能なまちづくり事業	一般社団法人地方創生パートナーズ	40
B-9	西宮市	もっとみやしる2024	西宮商工会議所 青年部	42
B-10	西宮市	第8回西宮浜さくら祭	西宮マリーナパークシティ協議会	44
B-11	西宮市	第77回西宮市民体育大会の「第11回小学生スナッグゴルフの部」	一般社団法人西宮市ゴルフ協会	46
B-12	西宮市	おさんぽガーデン Vol.7	Osanpo Garden実行委員会	49
B-13	西宮市	福祉施設等への訪問浪曲	西宮浪曲を楽しむ会	52
B-14	西宮市	2024西宮ぎゃらりーさんぽ	西宮ギャラリー連絡会	54
B-15	西宮市	きたろく里山音楽祭2024（第10回記念音楽祭）	県民交流広場北六甲台校区協議会	56
B-16	西宮市	第17回LALALAにしきたミュージシャンコンテスト'2024	西北活性化協議会	58
B-17	西宮市	2024みやっこ音楽回廊実施事業	みやっこ音楽回廊	60
B-18	西宮市	第15回兵庫県親子ティボール大会	特定非営利活動法人スポーツ福祉ティボール	62
B-19	西宮市	深津町自治会の活性化に向けたプロジェクト	深津推進委員会	64

番号	市	事業名	団体名	ページ
B-20	西宮市	兵庫・西宮の魅力発見！文化でつながる地域交流事業	働くママの朝活会in 西宮	66
B-21	西宮市	サマーフェスティバルin越木岩 ~THE FIRST SUMMER~	越木岩青年会	69
B-22	西宮市	つくるとたべると遊ぶ つながろうフェスvol,2	みやぱく	73
B-23	西宮市	地域高齢者のいきがいと多世代交流の活性化事業	なないろの会	77
B-24	西宮市	段上地区夏まつり	段上地区夏まつり実行委員会	79
B-25	西宮市	段西夏まつり	段上西県民交流ひろば運営委員会	82
B-26	西宮市	大学ゼミと連携した「おろいちマルシェ」活性化事業	「おろいちマルシェ」実行委員会	85
B-27	芦屋市	「公園を活用した多世代交流と健康づくり」=住民中心の活動推進へ「継続は力なり」を定着させる活動にする	芦屋市 岩園町自治会	88
B-28	芦屋市	5・5フェスタ	芦屋市子ども会連絡協議会	91
B-29	芦屋市	地域住民を対象とした「初秋のピアノサロン」と「NEW YEAR コンサート」	芦屋市潮見地区集会所運営協議会	93
B-30	芦屋市	高校生が発見・発信する芦屋の魅力	あしや部	95
B-31	芦屋市	芦屋国際芸術映画祭	芦屋国際芸術映画祭実行委員会	100
B-32	芦屋市	交流ふれあい事業	交流広場「すまいる浜風」	102
B-33	芦屋市	リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024芦屋	リレー・フォー・ライフ関西実行委員会	104
B-34	芦屋市	Withコロナの芦屋市における商業活性化事業（第11回芦屋バル）	芦屋バル実行委員会	106

A-1 第22回契沖顕彰短歌大会 / 契沖の会

活動地域	1 () 市 ② 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 : 伊丹市 西宮市、浜松市)
協働団体	尼崎文化協会
事業の目的・趣旨	<p>今年で22回目を迎える「契沖顕彰短歌大会」は、会員を含む一般社会人だけではなく、小学生、中学生、高校生、大学生、外国人からも短歌作品を募集している。</p> <p>また、募集要項を作り、市内等に掲示を行い、広く募集を行った。</p> <p>児童・生徒・大学生・外国人にも応募を呼び掛けるのは、短歌を創作することにより語彙力・表現力を磨くことができ、日本の伝統文化への興味や再認識にもつながり、教育効果が高いと考えるからである。</p> <p>兵庫県だけでなく全国から広く作品募集を行うことにより、契沖という人物、および和歌集などによる契沖の国学研究の功績・認知を広めることができ、ひいては、契沖誕生の地でその事務局もある「短歌の街・尼崎市」のアピールにもつながると考えている。</p>
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 募集要項作成、告知開始 (7月～) <ul style="list-style-type: none"> 会員、昨年以前に応募があった個人へ告知 (約200名)、短歌の先生方へ応募依頼。 さらに市内12か所の生涯学習プラザ、図書館、尼崎ロータリークラブ、プロバスクラブ、尼崎文化協会、他短歌会などにも短歌大会の募集要項を配布し、短歌の応募活動に協力していただいた。 大学内にも応募要項を設置し、学生及び新たに外国人留学生、また生涯学習受講者にも応募を呼び掛けた。 ホームページ再構築、また短歌誌に応募要項を掲載し広く募集した。 総会は5月19日に、さらに勉強会の開催は、4月20日、5月19日、6月8日、7月13日、9月14日、10月12日、11月9日、2月8日の8日開催した。 応募締め切り (9月30日)、第一次選考 (10月29日) <ul style="list-style-type: none"> 一般→選者による選考 児童、生徒→教員OBによる選考 大学生→契沖の会会長による選考 第二次選考 (12月9日) <ul style="list-style-type: none"> 一般、児童、生徒、大学生→選者 (6名) により選考し、受賞者 (特別賞、言の葉賞、山の井賞) を決定。 大会の実施については、役員会を12月7日実施 (園田学園第2会議室) し、第22回の短歌大会の表彰式を実施する方向で決定。 受賞者連絡 (1月初旬)、賞状・楯・『詠草集』など作成 (1月下旬) 短歌大会 (2月1日開催) <ol style="list-style-type: none"> 賞状・楯・『詠草集』の発送 (2月8日)

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	6	6	4	尼崎市立中央中学校	応募要領を中学校長会で説明、配布	2	20
	6	6	7	尼崎市教育総合センター	応募要領を小学校長会で説明、配布	2	42
	6	10	29	尼崎市教育総合センター	小中高第1次選考に関する説明	1	9
	6	12	7	園田学園女子大学	短歌大会選者会（第2次選考）	3	10
	7	1	11	園田学園女子大学	短歌大会の打合せ	2	8
	7	2	1	園田学園女子大学	第22回契沖顕彰短歌大会表彰式を大講義室において開催。	15	80
	7	2	8	園田学園女子大学	欠席者の賞状、盾、『詠草集』発送作業	3	10
目標の達成状況	<p>令和7年1月28日にこうべまちづくり会館にて、「公益財団法人 兵庫県芸術文化協会」より「ふるさと文化賞」を受賞させていただきました。</p> <p>さて、今年度は初めに掲げていた「応募総数13,000首以上」であり、児童・生徒の部は昨年よりも人数・歌数ともに応募が増加し、12,873首（昨年11,597首）であったこともあり、目標を超えることが出来た。</p> <p>ただ、一般の部は昨年とほぼ同じであった。その結果、応募料の収益は昨年と同等であったものの、関東・中部地方からの応募があり、少しずつではあるが新しい地域からの応募も増えてきたといえる。また、今年は大阪万博もあり、学生・外国人の部を一つの部としてまとめ、募集したところ、外国人において、初めて海外からネットでの応募を含め11人より23首、学生は63人より225首の応募もあり、新鮮な作品が加わった。</p> <p>さらに、ホームページの充実もあり、今後の活動においてはさらに全国的に周知されて、ますます期待できる結果につながると予想される。</p> <p>応募者数：13,013名 総歌数 13,312首</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般の部（1人5首まで応募可能） 66名（191首） ・児童・生徒の部（1人1首） <ul style="list-style-type: none"> 小学生 9,673名 中学生 2,561名 高校生 639名 ・大学生の部（1人3首まで可能） 63名（225首） ・外国人の部 11名（23首） 						
事業効果	<p>今年の短歌大会も応募に対するモチベーションを上げる目的で、「契沖大賞」だけではなく、知事賞、教育長賞など多くの賞を設定することができた。</p> <p>今年は、一般応募も中部、関東地方からの応募もあった。</p> <p>また、6名の選者による入賞者の講評ができたことと、新たに学生・外国人の部を増枠し、表彰式を実施できたことにより、今後の応募者を増やすためにも新たな挑戦であり、今後に期待したい。さらに新聞においても記事を掲載してらえたことは、今後の作歌に対しての意欲づけになったと考えている。</p>						

補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>本年は「契沖の会」を紙媒体以外でもアピールすべく、ホームページなどをを利用して短歌大会や短歌勉強会等の会員増強活動のPRにつなげたが、今後もホームページの充実、SNSの活用により、応募拡大並びに会員拡大となるよう努めたい。</p> <p>また、募集の時期を昨年から1か月早め、夏休み前には募集要項が配布され応募ができるよう時間の余裕を持った募集を行ない、学生・外国人の参加者増に努めたい。</p>
---------------------	---

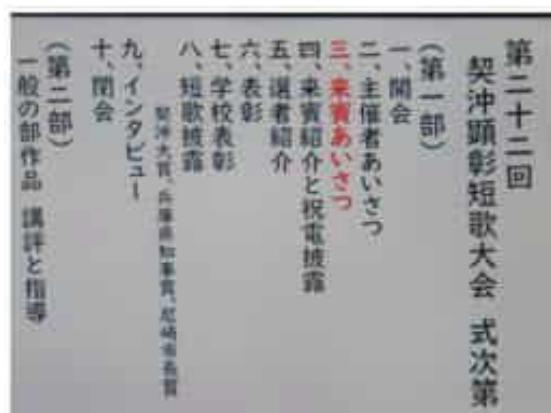
【事業実施状況を示す写真等】



式場



来賓あいさつ



式次第



表彰授与



外国人表彰者



新聞記事（2月4日）

A-2 「ジャズのまち塚口」で観光魅力発信・交流促進事業

／塚口ジャズ実行委員会

活動地域	<p>① (尼崎) 市</p> <p>2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 :)</p>
協働団体	塚口商店街振興組合
事業の目的	<p>老若男女の心を揺さぶる「音楽」をまちなかで、気軽に楽しむことができる機会を設け、住人・商店街・企業・子どもたちが集い、共感し、コミュニケーションの機会を持つことで、まちなかに集いの場を持ち、協働の関係性を育む。この糧として「まちを愛する心」を育み、「音楽のまち」としてまちの文化とすることで「住んでいるまちを誇りにし愛する心」を将来にわたって育てる。</p> <p>さらに「音楽の流れるまち」をキーに、まちの文化度を上げることで、今は弱い「観光魅力」発信による来街誘致を、2025年の万博来訪者を対象に図り、「まちを楽しむ」来街者を国内外から誘致する。将来に向けて「まちの価値」をあげる一翼とする。</p>
事業内容	<p>6月15日 阪急塚口駅前南はんつかスカイコム広場で、市民向け無料コンサート開催。駅前広場活性化を目的とした団体はんつかサラダ実行委員会による駅前のキッチンカー出店も同時開催。駅北に位置する塚口商店街は「キーワード特典」イベントを実施し、線路を超えた回遊を促進。11時13時15時の3公演。毎回小さな子連れから高齢者まで多くの市民が集った。</p> <p>7月13日 6月同様阪急塚口駅前南はんつかスカイコム広場で、市民向け無料コンサート11時13時15時の3公演開催。はんつかサラダ実行委員会による駅前のキッチンカー出店とあわせて、コンサート会場近くで塚口商店街をはじめとする近隣店舗が屋台出店。毎回多くの市民が訪れ、飲み物や菓子を購入して音楽を楽しむ姿が見られた。</p> <p>8月12日 阪急塚口駅前南はんつかスカイコム広場で、市民向け無料コンサート11時13時15時の3公演。さらに市民ホールピッコロシアターでコンサート開催。はんつかサラダ実行委員会による駅前のキッチンカー出店とあわせて、コンサート会場近くで塚口商店街をはじめとする近隣店舗が屋台出店。 夜は塚口商店街はじめ近隣店舗でジャズナイト開催。 昼間のコンサートから、夜の店舗での飲食を伴うジャズナイトまで、回遊しながら、まちなかに長時間滞留する市民が賑わいをもたらした。 ピッコロシアターのコンサートには、KBE卒業生のプロのジャズ奏者が出演し、満席となつた。</p> <p>10月5日 夏の3ヶ月にわたる塚口ジャズを通じ、市民からも主催者からも「もっと楽しみたい」という声があがり、猛暑の夏に参加の叶わなかつた弱者が楽しめる高齢者や未就学児童などの参加の機会を作ろうということで、予定にはなかつたが10月の実施となつた。 弱者の中でも未就学児童に焦点を当て、今回は「ジャズピクニック」併催と銘打つて、会場の舞台前の芝生にピクニックシートを敷き、気軽に週末の午後を楽しんでもらえる環境を整備した。さらに長く滞留して「まちで楽しむ」雰囲気を作ろうと、客席周辺に屋台を設置。屋台は飲食のテイクアウトだけでなく、ワーク</p>

	<p>ショップもの出店もうながし、子どもたちが楽しめる環境の充実を図った。出展はいずれも尼崎界隈の店並びに塚口商店街。</p> <p>演奏の合間には、「塚口商店街はじめ屋台出展者」から寄せられた物品やサービスを景品に、大抽選会を行なった。線路を挟んだ位置にある塚口商店街は、「割引券」「クリスマスケーキ引換券」「ランチコース券」など、来店来街どうきとなるものを提供することで、住人の行動範囲の拡大を図ったさらに夜は商店街内4店舗で塚口ジャズナイトを開催。音楽ジャズを基軸にした、来店誘致・商店街活性を行なった。</p> <p>甲南高校中学校プラスバンド部KBEは6月8月と出演し、塚口ジャズの顔として、市民たちの喝采を浴びた。</p> <p>6月7月は市民が主体であったが、8月は「塚口ジャズ」を目指して貝塚や京都からの来街者があった。コンサートの後もジャズナイトだけでなく、商店街での飲食などまちを満喫してもらっていた。</p> <p>さらに10月は、より市民に近いイベントとして実施することで、親子連れや、近所の高齢者がゆったりとピクニックのノリで音楽を楽しむ様子が伺えた。</p> <p>なお、予定していた「甲南高校中学校の子ども向け音楽会」は、学校行事の予定と合わせず実施が叶っていない。今後の課題として検討中。</p> <p>10月ジャズピクニックでは親子連れが多く集まってきたことを鑑み、「親子で楽しむ音楽イベント」としての方向性も今後模索していく予定。</p> <p>この動きを伝え、「塚口ジャズ」を機会に「音楽のまち」として認知を拡散すべく、各コンサートの様子をYouTube配信。</p> <p>塚口ジャズのInstagram・ホームページを使って、拡散・認知度向上を図っている。</p>
--	---

実施経過 (A)	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
	6	3	23	第一回企画会議	年度計画の確認	10	
	6	4	13	第二回企画会議	6月7月8月塚口ジャズ概要検討	10	
	6	5	18	第三回企画会議	6月塚口ジャズ企画検討	8	
	6	6	8	第四回企画会議	6月塚口ジャズ詳細検討	10	
	6	6	15	塚口ジャズ		12	500
	6	6	29	第四回企画会議	6月塚口ジャズ反省会	10	
	6	7	13	塚口ジャズ		12	500
	6	7	27	第五回企画会議	7月塚口ジャズ反省会	10	
	6	8	10	第六回企画会議	8月塚口ジャズ検討	10	
	6	8	12	塚口ジャズ		20	1000
	6	8	30	第七回企画会議	8月塚口ジャズ反省会	10	
	6	9	13	第八回企画会議	10月塚口ジャズ検討	8	
	6	10	5	塚口ジャズ			300
	6	10	19	第九回企画会議	10月塚口ジャズ反省会	8	
	6	11	30	2024年度反省会		8	
目標の達成状況 (B)	予定していた6月7月8月の三回の塚口ジャズに加え、10月には新しいプログラムジャズピクニックを加えた、四回のステージをまちなかで開催することができた。						
	来場者は増え、8月には1000人を超えた。						
	パブリシティ活動も充実。新聞各紙が取材に来てくれた。						

事業効果 (C)	<p>毎回参加者が増え、スカイコム広場とピッコロシアター並びに塚口商店街でのジャズナイトを実施した日は、1000人のお客様がまちに集い、昼間から夜遅くまでまちに音楽が響いた。</p> <p>会を重ねるごとに、小さな子ども連れのお客さんが増え、10月のジャズピクニックではお弁当を食べながらゆったり楽しむ子連れ親子の姿が見られた。</p> <p>まちに音楽が広がりつつある。さまざまな手段を工事している結果と考えている。</p> <p>塚口ジャズに塚口商店街はじめ 近隣店舗が出店が増えている。</p>
補助金交付 終了後の事 業展開、 今後の展望 (D)	<p>塚口ジャズを継続し、まちの人により楽しんでもらえる企画・プログラムを取り入れていく</p> <p>さらに まちの子どもを音楽で元気にする企画を検討中。甲南中学高校・尼崎の関西国際大学教育学部と、当企画での協力連携も企画中</p> <p>塚口商店街との協働を図り、塚口駅の南北の回遊を活性化していく。さらに町内会・青年団など、まちの基盤となっている団体との連携も今後図っていく予定。</p>

事業実施状況を示す写真



**A-3 尼崎商工会議所青年部 30周年記念事業(尼博Fes～尼崎の魅力とSoulを世界に発信～)
／尼崎商工会議所青年部**

活動地域	1 () 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町：尼崎を中心とした阪神エリアの市町)
協働団体	
事業の目的・趣旨	①地域団体の密着度を高め、この先も協力し合える関係構築 ②新たな取り組みにチャレンジ ③2025年の関西大阪万博に先駆けて尼崎の魅力とSoulを世界に発信 ④青少年の健全な育成のための「体験」の機会の提供
事業内容	<p>事業名：AMAHA KU～尼崎の魅力とSoulを世界に発信～ 開催日時：令和6年12月7日(土)10時00分～19時00分 開催場所：尼崎市記念公園(ベイコム陸上競技場) 事業内容：</p> <p>①ステージイベント【10時00分～19時00分】</p> <p>10時00分 開会式 10時30分 百合学院オープニングチアダンス 11時00分 地域団体等PR 12時00分 レゲエ等の音楽ライブステージ・キャラクターなどによる子ども向けステージイベント 19時00分 閉会</p> <p>・百合学院チアダンス：本青年部事業でも交流のある、百合学院チアダンス部を誘致し、オープニングパフォーマンスを実施した。</p> <p>・地域団体等PR：市内で活動する団体に加え、市内に新たな球場を建設している阪神タイガースやSEKISUIチャレンジャーズ、(学)育成学園等に登壇いただき、活動等についてPRしていただいた。</p> <p>・キャラクターイベント：市内団体や博覧会協会のミャクミャクを始めとした着ぐるみキャラクターを誘致し、PRや子どもへのパレード等を行った。</p> <p>・音楽ライブステージ：尼崎で活躍する総勢15組のアーティストを中心としたレゲエ等の音楽ステージを実施。「レゲエ西の聖地」と言われる尼崎を広く発信。</p> <p>②ブース出店</p> <p>・飲食ブース【10時30分～18時00分】 尼崎市内飲食店の協力により尼崎の食の文化を発信。本青年部の事業でも交流のある、育成調理師専門学校にも継続して協力していただき、学生によるブースも設置。 計28ブース。</p> <p>・物販・縁日ブース：尼崎市内を中心とした商品を販売していただき、面白くて、良いものが集まる尼崎をPR。加えて、子どもたちも楽しめる縁日ブースも出店し、幅広い年齢層への対応を行</p>

	<p>った。計 11 ブース。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PR・体験ブース：尼崎市内で活動する団体の PR や企業の出展ブースでの様々な体験ができる出店をしていただき、子どもたちへの体験機会の提供を行った。計 8 ブース。 ・ 関西万博 PR ブース：大阪府・大阪市万博推進局による PR ブースを出展し、万博開催に向けての機運醸成を図った。 <p>③ステージ外イベント【随時】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人間カルタ大会：本青年部で製作した「尼崎愛 AI カルタ」を活用した人間カルタイベント(絵札のカードを首から下げたメンバーがエリア内を逃げ回り、それを子供たちが取得した数を競うもの)を実施した。 ・ キャラパレード：参画した着ぐるみキャラクターが場内を歩き PR した。 ・ 高所作業車体験：高所作業車を誘致し、搭乗体験を行った。 ・ ふわふわ遊具：ふわふわ遊具を設置し、低年齢層も楽しめるようにした。
--	--

事業経過	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	6	4	9	尼崎商工会議所	担当会議 第 1 回担当会議		30
		5	7	尼崎商工会議所	第 2 回担当会議		22
		6	3	尼崎商工会議所	第 3 回担当会議		24
		7	9	尼崎商工会議所	第 4 回担当会議		27
		8	5	尼崎商工会議所	第 5 回担当会議		25
		9	9	尼崎商工会議所	第 6 回担当会議		22
		10	8	尼崎商工会議所	第 7 回担当会議		23
		11	5	尼崎商工会議所	第 8 回担当会議		27
		12	3	尼崎商工会議所	第 9 回担当会議		28
		7	1	尼崎商工会議所	第 10 回担当会議		23
事業経過	6	6	14	△ 伊ム競技場	事業運営関係 会場打合せ		8
		10	24	△ 伊ム競技場	会場打合せ		12
		10	28	尼崎商工会議所	メンバー全体説明会		58
		11	5	尼崎商工会議所	ブース出店者向け説明会		13
		11	20	櫻井神社	決起例会		65
				AMA-NEST			
				△ 伊ム競技場	現地調査		21
		11	29	△ 伊ム競技場	会場設営最終打合せ		6
		12	6	△ 伊ム競技場	準備・設営・撤収		43
		12	7	△ 伊ム競技場	事業実施		94
事業経過	7	1	23	尼崎商工会議所	場内外清掃		24
		2	5	尼崎商工会議所	報告関係 監事による収支状況確認 役員会(事業及び決算報告)		
		12	9		支払、協力・参画者へ御礼まわり、 報告関係取りまとめ		
		~			その他外部調整会議 小規模会議を実施		

目標の達成状況	<p>① 多くの趣旨賛同団体、学校、スポーツチームと事業を通し、地域団体の密着度を高め、この先も協力し合える関係構築の目標を達成できた。</p> <p>② 今までつながりのなかった団体に積極的に協力を依頼するなど、新たな取り組みにチャレンジする目標を達成できた。</p> <p>③ 来場いただいた10,000名の方に、ステージ、ブース等を通して、尼崎の魅力とSoulを発信する目標を達成できた。</p> <p>④ 体験ブースなどにより、青少年の健全な育成のための「体験」の機会の提供する目標を達成できた。</p>
事業効果	<p>○市内団体等とのつながりを構築できたため、今後の地域活性化等に資する連携可能性を生み出すことができた。</p> <p>○多くの来場者が来られたことにより、市内で活動する出展者や参画者のPRを促進することができ、尼崎の魅力を広く発信することができた。加えて、本青年部としても、関西大阪万博に先駆けて、さながら尼崎の魅力博覧会イベントへ万博ブースを誘致したことで、同イベントの機運醸成に繋がった。</p> <p>○各種企業等の体験ブース等を出展いただいたことにより、来場した子どもたちへ地域の事業者を知り、様々な体験機会を提供することができた。</p>
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>今回の事業を通して、地域の飲食店や商店等に加え、多くの団体や学校、スポーツチームとつながりを持つことができた。その実績を活かし、本青年部が設立以来、一貫して行ってきた広い意味での「まちづくり」事業での継続的な協力(例:【青年部×スポーツチーム=チームビルディング】、【青年部×学生=次世代育成】)を行い、地域の商工業者の発展や将来を支える企業人の育成、ひいては、地域全体の活性化を目指す。</p>

事業実施状況を示す写真、チラシ等





A-4 “海の甲子園”ユースセーリングカップ／海の甲子園実行委員会

活動地域	1 () 市 ② 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町： 各都道府県)
協働団体	兵庫県セーリング連盟
事業の目的	兵庫県阪神南地区は海洋レクリエーションの中心としても発展しており、日本有数のヨットハーバーである新西宮ヨットハーバーがある。しかし、社会人や大学生のヨット競技の大会はあるものの、中・高校生の選手や女性セーラーの育成や成長を図るための大会は少ない。本大会は、全国の中・高校生や女性セーラーを対象としたヨットレースを通じて、青少年や女性セーラーの健全育成と交流を図るとともに、セーリング初心者の育成も図っていく。
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 2024年8月23日(金)～25日(日)にかけて、“海の甲子園”ユースセーリングカップを新西宮ヨットハーバーで開催いたしました。艇種は国際420級、セーリングスピリット級、ILCA6級の3艇種でレースを行ないました。大会には古野電気様やヤンマー船用システムの他、8社から協賛を頂戴することができました。 参加者は関東/神奈川県、中部・北陸/静岡・愛知・石川県から、中国/鳥取・広島県、四国/香川・愛媛など、14府県から、前年と同様に参加艇数81艇、人数125名と多くを集めました。 8/23は午後から艇の搬入と受付を開始いたしました。8/24の開会式でライオンズカップの返還式を行い、大会がスタートいたしました。 天候は猛暑・晴天でしたが、24日は6～11ノットの順風の中で4レース、27日は弱風の中で何とか1レースを実施して、合計5レースを行ないました。猛暑であったため、選手・運営スタッフの熱中症対策として、水やポカリスエット、氷を十分に用意し、選手の家族、支援者、体調不良者が出ていた時に備えて空調の効いた控室を準備、また医師の救助艇乗艇も行いました。 24日の夜に世界一周単独無寄港の最年少記録を6月に達成した「木村啓嗣」氏による講演会を開催いたしました。若い選手に夢を与えてくれる講演となりました。 また、24日夕方にはセーリングスピリット級の女性セーラーを対象に意見交換会を開催し、横の繋がりの強化を図りました。 25日のレース終了後に、選手・運営参加者が合同でハーバーやその周辺の掃除を行ないました。 閉会式は兵庫県南県民センター長様をはじめ、日本セーリング連盟会長、西宮市長様、西宮戎ライオンズクラブ会長様等にご参加いただき、県知事賞、神戸新聞社賞、ライオンズ賞など多くの賞が授与されました。 レースの内容や結果は、朝日新聞やヨット専門誌「バルクヘッドマガジン」古野電気様ホームページ等に掲載されました。また、レース風景の写真は参加選手のライングループで公開いたしました。

	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数		
						スタッフ	参加者	
実施経過	2024	6	18	古野電気、 ヤンマー	後援・協賛依頼 後援・協賛依頼	3 3	3 3	
		6	18	西宮市	後援依頼	1		
		6	18	神戸新聞社	後援依頼	1		
		6	20	阪神南県民センター	後援・協賛依頼	1		
		6	20	アサヒポート&セールス	後援・協賛依頼	2		
		6	21	ペイワークス、 菱神運輸	後援・協賛依頼	2		
		6	22	西宮市勤労会館	後援・協賛依頼 運営会議	2 15		
		6	22	SS協会	協賛依頼	2		
		6	24	カムラボート	後援・協賛依頼	2		
		6	24	大前学園	後援・協賛依頼	2		
		6	25	アスリートビズ	後援・協賛依頼	2		
		6	25	コスモマリン	後援・協賛依頼	2		
		7	24	外洋内海事務室	運営会議	15		
		7	30	兵庫県庁	県知事賞受領	1		
		8	6	平山商会	神戸新聞社賞受領			
		8	19	学連事務室	大会事前準備	10	70	
		8	23	新西宮ヨットハーバー	艇搬入整理、受付	10	80	
		8	24	新西宮ヨットハーバー	艇搬入整理、受付	5	150	
		8	25	新西宮ヨットハーバー	開会式 レース（1～4レース） 講演会 レース（1レース） 清掃 表彰式	44 44 10 48 48 30	130 150 150 150 150 70	
目標の達成状況		参加者は14府県、参加艇数81艇、参加人数125名と、前年同様の参加者を集めました。25日のレース終了後は選手・運営参加者が合同でハーバーやその周辺の掃除を行ない、地元貢献にも努めました						
		地域への知名度を上げるために、25日朝日新聞記者が取材に来訪、朝日新聞地方版と朝日新聞デジタルに掲載された。ヨット専門誌「バルクヘッドマガジン」、古野電気様のホームページにも掲載されました。目標は達成できたと考えています。						
事業効果		支援者を含めると150名を越える参加者が関東以西の各地から集まり、その宿泊や飲食も含めると経済効果高かったと言えます。またこれらの選手が日本有数のハーバーである新西宮ヨットハーバーで実際にレースをしたことで、今後のハーバーの活性化に繋がると考えます。						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望		セーリングクリニック（講習会）は好評であり継続していくが、来年以降はパリオリンピックの銀メダリスト吉岡選手をはじめ、兵庫県に縁のあるセーリング選手が他2名いるため、オリンピアンによる講演会や指導も検討して、若手の意欲や技術向上に繋げていきたい。 西宮市商工会議所や西宮戎ライオンズクラブと連携して、地元の祭事等との連携ができないか、今後も検討していく。						

事業実施状況を示す写真



A-5 甲子園浜マリンスポーツ体験フェスティバル 2024 ／甲子園浜マリンスポーツ体験フェスティバル 2024 実行委員会

活動地域	1 (西宮) 市						
	2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 :)						
協働団体	なし						
事業の目的	2025 年大阪・関西万博に向けて、マリンスポーツを通じて域外からの交流を促進するにぎわいをつくり、機運醸成を図る。甲子園浜やマリンスポーツ、施設の認知度を高めるとともに、新たなマリンスポーツ愛好者を育成する。						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ① SUP などのマリンスポーツを通じて西宮市甲子園浜の魅力を発信する。 ② 県の内外から SUP 愛好者の参加者を募り、西宮市甲子園浜から芦屋市の海洋体育館前までの水路をツーリングする会を開催する。 ③ まったく初めての方などを対象に、SUP 初心者の体験会を甲子園浜で開催する。 ④ 甲子園浜で最も人気の最新マリンスポーツであるウイングフォイルの展示、デモンストレーションを行う。 ⑤ 甲子園浜で歴史があり愛好者の多いウインドサーフィンの展示、デモンストレーションを行う。 ⑥ 上記イベントを開催するにあたり、チラシや SNS を活用して広報活動を行う。この会を機に西宮市内外からの甲子園浜利用者を増やしていく。 						
実施経過 (A)	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
	6	6	30	甲子園浜	初心者 SUP 体験会	10	12
	6	6	30	甲子園浜	愛好者 SUP ツーリング会	5	23
	6	6	30	甲子園浜	ウインドサーフィン展示会	8	50
	6	6	30	甲子園浜	WING フォイル展示会	8	50
目標の達成状況 (B)	アウトドアスポーツの集客が減少する梅雨時期に、実際に当日は梅雨空だったにもかかわらず多くの参加者を集めることができ、事業開催の効果は見受けられた。						
事業効果 (C)	<p>兵庫県、大阪府、京都府、和歌山県、奈良県からと広範囲な地域からの参加者を集めることができ、甲子園浜のマリンスポーツの懐の深さを実感し、今後の可能性を感じることができた。広範囲な地域の人との交流も増え、今後の集客への足掛かりとすることことができた。</p> <p>近隣から初めて甲子園浜に訪れた参加者にも認知できた。</p>						

補助金交付 終了後の事 業展開、 今後の展望 (D)	<p>初心者体験会は早期に募集締切となつたため、広く事業を告知する前に締切になつてしまつたことは次回開催事業の修正点とする。</p> <p>今回、誰でも参加できる体験会は SUP の種目に絞つて開催したが、甲子園浜全体としては風スポーツのウインドサーフィンやウイングフォイルが盛んなので、体験会の種目を増やすことも検討し、さらに幅広い層に認知度の向上をはかる。</p>
--	--

事業実施状況を示す写真



A - 6 「もうすぐ大阪万博！兵庫県フィールドパビリオン」と「ひょうごウクライナ創造的復興支援」 ／絵本とお歌の会

活動地域	1 (西宮) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 :)						
協働団体	一般社団法人あまがさき観光局 兵庫県企画部万博推進局フィールドパビリオン推進課						
事業の目的	県民が生活圏内で県の万博情報や国際活動に親しむ機会を提供し、兵庫県フィールドパビリオンとひょうごウクライナ創造的復興支援への参加を進めたい。 高齢者と 10 代の異世代間交流・県民とウクライナ避難者の文化国際交流						
事業内容	<p>①8/17 ひょうごフィールドパビリオン チラシ展示と配布：尼崎運河クルーズ、Pick up あまがさき 自分で見つける フィールドガイド '西宮郷・今津郷' SAKE ツーリズムからフィールドパビリオン公式情報を提供 頂 気展示と配布 ひょうごフィールドパビリオンの QR コードの案内 団体役員がフィールドパビリオンについてお客様にご案内 万博トークセッション：1970 年大阪万博の時に大学生だった=現在 70 歳代を講師 にお迎えし 万博未経験の 17 歳高校生から 50 歳代に万博の楽しさをレクチャーしてもらった 1970 年の歌のコンサートは皆で歌うコーナーもあり異世代交流、国際交流ができた</p> <p>②8/17, 18 ウクライナ創造的復興支援資料掲示とウクライナチャリティ大使による トークセッション ③8/17 ウクライナ民芸品展示と 8/18 花冠ワークショップ ④8/17, 18 ウクライナ避難民コンサート ⑤8/17, 18ADRUM ウクライナ戦禍の子どもが描いた絵の展示 ⑥8/18-9/30 ウクライナ花冠を SNS 投稿してもらいウクライナチャリティ大使が コメントする</p>						
実施経過 (A)	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
	6	5	随時	オンライン	運営会議	6	
		6	随時	オンライン	ウクライナ本土と絵画展示準備	6	
		7	随時	オンラインと各自	展示と花冠ワークショップ準備	6	
	8	17	島村楽器ららぽーと甲子園		兵庫パビリオン&ウクライナ創造的復興支援イベント	12	58
		18	店イベントルーム				43
			facebook528kailina		花冠を SNS 投稿してもらい ウクライナチャリティ大使 からコメントした	4	43

目標の達成状況 (B)	<p>当日の参加者 101 名（予定 100 名）5 歳から 80 歳までの日本人とウクライナ避難者、障害のある子どもも参加した</p> <p>SNS 参加者 43 名（予定 20 名）日本各地とウクライナ本国からの参加があった</p> <p>フィールドパビリオンのチラシ（一般社団法人あまがさき観光局/尼崎運河クルーズ/西宮酒蔵）を頂き子育て世代を中心に宣伝できた</p> <p>ウクライナ文化を紹介することで兵庫県民にひょうごウクライナ創造的復興支援に興味を持って頂けた</p> <p>それらにより異世代・国際交流ができた</p>
事業効果 (C)	<p>100 名以上の県民に県政を知って頂くことができた</p> <p>県民がフィールドパビリオンに関心を持つようになった</p> <p>高齢者と 10 代の異世代交流ができた</p> <p>県民とウクライナ避難者との文化国際交流が実現した</p> <p>県民に平和の尊さ、戦争の恐ろしさ、戦禍ウクライナでの暮らしを知ってもらうことができた</p> <p>交流活動により、特に高齢者、ウクライナ避難者が自信を得ることができた</p> <p>SNS 投稿を見て興味を持つ人が増えた</p>
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望 (D)	<p>異世代・国際・文化の交流と掛け合わせことの相乗効果を感じた</p> <p>上記の活動を年数回行う</p> <p>助成金と寄付金で経費を払えるように小さな活動を続け、SNS 投稿をし、共感者を増やしていく</p>

事業実施状況を示す写真



A-7 「沿線まちなみさんぽ」～JR および西宮市の周年事業との連携事業～ ／西宮まちなみ発見俱楽部

活動地域	1 () 市 ② 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町：西宮市を中心とした阪神南地域、兵庫県、大阪府)
協働団体	なし
事業の目的	1.鉄道沿線からの参加がしやすいまちあるきを実施し、阪神南圏域外の人々を集客し、西宮のまちなみへの関心をさらに高めることをめざした。 2.外国人向けの広報を行い、インバウンド観光に向けた PR をめざした。 3.関西万博開幕の 2025 年は西宮市制 100 年の節目にも当たるため、上記の取組みを次年度につながるよう冠事業を行うこととした。
事業内容	1.JR 沿線まちなみさんぽの実施 ①Vol.1 東コース「JR150 年の沿線から西宮市政 100 年へ、まちなみ再発見あるき旅～谷崎潤一郎もあいみょんも通ったマンボウめぐり～」 ・開催日時：2024 年 5 月 12 日(日) 9 時 30 分～12 時 ・参加者数：28 組 34 名、スタッフ 13 名 ・参加費：500 円 ・コース：JR さくら夙川駅（集合）～マンボウ（平松町）～JR 西宮駅～マンボウ（二見町）～JR 甲子園口駅（解散） ・ガイド：西宮まちなみ発見俱楽部のメンバー ②Vol.2 西コース「JR150 年の沿線から西宮市政 100 年へ、まちなみ再発見あるき旅～幻の西宮駅とねじりマンボを探せ！JR150 年の遺構巡り～」 ・開催日時：2024 年 9 月 29 日(日) 9 時～12 時 ・参加者数：46 組 59 名（うち、外国人 3 組 4 名）、スタッフ 18 名 ・参加費：500 円 ・コース：JR 西宮駅（出発）～マンボウ（平松町）～さくら夙川駅～ねじりマンボ（大谷道）～夙川グリーンプレイス（鉄道官舎跡）～幻の西ノ宮駅と旧片鉢橋～夙川公民館（解散） ・ガイド：西宮まちなみ発見俱楽部のメンバー * コースにちなみ、クリアファイル鉄道編を作成・販売 * 詳細は別紙、実施報告書参照 2.阪急甲陽線開通 100 年記念・甲陽園 MAP 改訂版の作成 ・市内の団体が、メンバーが講師となる講座とウォーキングを実施することになったため、俱楽部主催のまちあるきは実施せず、MAP 改訂版を発行することとした。 ウォーキングのスタート及びゴール地点で、当俱楽部や MAP の PR を行った。 * 「うたかたの昭和ベルエポック・カルチャーウォーク」みやっこ音楽回廊主催 ・日時：9 月 28 日(土)9:30～11:30 ・コース：緩急甲陽園駅（電車移動）阪急夙川駅～中央図書館 3.景観パネル展 ・開催日時：2025 年 2 月 1 日(土)～2 月 2 日(日)10 時～20 時(最終日 18 時まで) ・来場者数：のべ 1,000 人、スタッフのべ 70 人（2 時間ごとに交代） ・参加費：無料 ●展示：A0 サイズ 27 枚 A1 サイズ 6 枚 (MAP) の印刷物 A.西宮北口北側 5 枚、B.あらいゑびすスクエア提案 5 枚、C.JR 開通 150 年 2 枚 D.MAP14 西宮浜 2 枚、MAP1 甲陽園～廣田神社改訂版 2 枚、MAP8 鳴尾 2 枚、

<p>MAP4 甲子園 2 枚 (2023 年度作成) E. 西宮市都市景観賞 2 枚 (2023 年度作成)</p> <p>●ギャラリートーク：展示内容の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日時：2025 年 2 月 1 日(土)、2 日(日) 11 時 30 分、13 時 30 分(2 日目 13 時)、15 時 30 分 ・内容：上記展示 A、B、C の説明 ・参加者数：のべ 68 人、説明スタッフのべ 9 人 ・参加費：無料 <p>●ミニさんぽ：「西宮北口北側のむかしと今」で紹介したエリアのまちあるき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日時：2 月 1 日(土)、2 日(日) 14 時～15 時(2 日目 13 時 30 分～14 時 30 分) 17 時～18 時(1 日目のみ) ・参加者数：21 人、ガイド & 同行スタッフのべ 12 人 ・参加費：200 円 <p>●動画上映：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらいゑびすスクエアの提案 ・谷崎潤一郎もあいみょんも通ったマンボウめぐり(YouTube フロムにしのみや) ・西宮まちなみ発見俱楽部紹介 <p>●MAP およびクリアファイル販売</p> <p>* 詳細は別紙、実施報告書参照</p> <p>4. インバウンド観光客向け案内の作成・配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「JR 沿線まちなみさんぽ」Vol.2 西コースにおいて、関西学院大学国際学部児島ゼミの協力を得て、英語版の案内、コース図を作成。 ・西宮、芦屋、尼崎の国際交流協会、上記ゼミ、大手前大学国際センターでチラシを配布。 ・実施当日は、ゼミ学生の協力により同時通訳を行った。 <p>* 参加者が留学生に限られたため、村上春樹に関する英語版冊子作成は見合わせた。</p> <p>5. あらいゑびすスクエアの提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案内容を検討・整理し、プレゼン資料及びイメージ動画を作成。 ・対象地域の管理者である尼崎港管理事務所、西宮市土木局にプレゼンを行った。 ・その内容を、パネル展にて展示した。 <p>* 詳細は別紙、別紙、景観パネル展・パネル展示物一式参照</p>
--

（

実施 経過	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
令和6	4	14		中央公民館 402集会室	2024年度第1回定例会 役員会	15 6	
	5	4		JRさくら夙川駅～甲子園口駅	JR沿線まちなみさんぽ①下見	10	
	12			JRさくら夙川駅～甲子園口駅	JR沿線まちなみさんぽ①本番	13	34
	19			今津公民館 第2集会室	2024年度第2回定例会 役員会 「MAP④西宮浜」校正	14 7 6	
	26			中央公民館 403集会室	2024年度総会	13	
	27			西宮市役所	都市デザイン課と打合せ	4	1
	6	23		若竹公民館 第1集会室	2024年度第3回定例会 「MAP④西宮浜」校正 あらいゑびすチーム打合せ 今昔班打合せ(バネル展内容)	15 6 6 6	
	7	28		今津公民館 第2集会室	2024年度第4回定例会 今昔班打合せ(バネル展内容) あらいゑびすチーム打合せ あらいゑびすスクエア対象地区視察	13 6 5 9	
	9	8		今津公民館 第2集会室	2024年度第5回定例会 あらいゑびすチーム打合せ 「MAP④西宮浜」校正 今昔班打合せ(バネル展内容)	14 5 4 4	
		16		JR西宮駅～夙川公民館	JR沿線まちなみさんぽ②リハ	15	
		19		JR西宮駅～夙川公民館	JR沿線まちなみさんぽ②リハ(外国人対応)	5	
		22		阪急西宮ガーデンズ・スカイガーデン	今昔班取材(バネル展取材)	2	
		26		個人邸	あらいゑびすチーム打合せ	2	
		28		阪急甲陽園駅～中央公民館	(カルチャーウォーキング参加)	(1)	
		29		JR西宮駅～夙川公民館	JR沿線まちなみさんぽ②本番	18	59
	10	6		若竹公民館 第1集会室	2024年度第6回定例会	15	
		17		尼崎港管理事務所	バネル展班打合せ	3	
		28		西宮市役所	あらいゑびすスクエア・プレゼン 都市デザイン課と打合せ	2 3	5 1
令和7	11	1		兵庫県立芸術文化センター中ホール	今昔班取材(バネル展取材)	1	
		3		メンバーの事業所	今昔班打合せ(バネル展内容)	6	
		9		個人邸	今昔班打合せ(バネル展内容)	2	
		24		今津公民館 第2集会室	2024年度第7回定例会 バネル展班打合せ あらいゑびすチーム打合せ 今昔班打合せ(バネル展内容)	13 3 6 4	
	12	11		公園幼稚園	今昔班取材(バネル展取材)	2	
	12	22		若竹公民館 第1集会室	2024年度第8回定例会 バネル展班打合せ あらいゑびすチーム打合せ 今昔班打合せ(バネル展内容)	16 3 5 6	2
	1	5		津門川	今昔班、バネル展取材・津門川清掃参加	2	
		26		今津公民館 第2集会室	2024年度第9回定例会 バネル展班打合せ(キャラリートーク)	16 2	
	2	1-2		アクタ西宮 本館2階	今昔班打合せ(ミニさんぽ＆キャラリートーク)	6	
		1-2		同上	バネル展2025	のべ70	1,000
				同上	キャラリートーク	のべ9	のべ68
		23		若竹公民館 第1集会室	ミニさんぽ	のべ12	21
					2024年度第8回定例会	14	

目標の達成状況	<p>①JR 沿線まちなみさんぽ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標、参加者 60 人に対して、93 人の参加があった。 ・特に、1 回目、早々に定員に達したため、2 回目は定員を増やしたが、それでもキャンセル待ちが出るほどだった。 ・参加者の住まいは、これまでよりも西宮市以外が多く、1 回目は 41%、2 回目は半数以上の 53% だった。(申込代表者の回答より) ・そのうち阪神南圏域外の人々は、1 回目が 75%、2 回目が 60% 弱だった。 <p>②パネル展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標、参加者 600 人に対して、1,000 人の参加があった。(10 分間で平均 10 名が滞留したと仮定) ・西宮市内在住者が 4 分の 3 というは例年通りだが、アンケートを QR コード読み取りのみにしたためか、70 歳代以上の回答者が 20% と昨年より 16 ポイント減った。 ・例年と同じく、初めて来場された方が半数だった。
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ・関西万博が開幕された後も来訪者が増えるのかどうかはアンケートだけではわかりかねるが、JR 沿線まちなみさんぽにより、西宮のまちなみから見る魅力について阪神間以外の人々が知る機会となった。 ・JR 西日本神戸線開通 150 年、西宮市制 100 周年(プレ)の冠事業であったことは大きい。 ・参加者の感想や MAP への関心が高かったことから、西宮のまちなみへの関心をさらに高めることに一定の効果があったと考えられる。
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> ・西宮市制 100 周年の冠事業を継続申請し、活動 PR の機会を増やす。 ・本補助金事業以外で活動 PR の場を広げ、市民と交流する機会があった。来年度は、交流の場を増やす予定である。 ・インバウンド観光客を含む阪神間以外の人々が訪れる機会を増やすためには、離れた地域の皆さんへの工夫が不可欠であることから、パネル展に来場できない人も対象になる冊子の作成に着手する。これは、経済的自立のベースとなると考えている。

事業実施状況を示す写真



A-8 西宮の日本酒振興プロジェクト(「西宮郷・今津郷」SAKE ロゴ COLLECTION) ／西宮日本酒振興連絡会

活動地域	<p>① (西宮) 市</p> <p>2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 :)</p>
協働団体	
事業の目的	<p>西宮市の地場産品である日本酒の魅力と、それにまつわる酒文化を全国に発信することで日本酒ファン層の拡大を図るとともに、日本酒の新たな魅力を発見できるような話題性のあるイベントの実施や、日本酒のイメージ向上につながる効果的な情報発信を行うことで酒蔵ツーリズムを定着させ、酒蔵地帯への来訪者増加を図り、西宮の経済を活性化することを目的とする。加えて、大阪・関西万博を見据えた企画を実施し、かつフィールドパビリオンに認定されている本地域の酒蔵めぐりを推進することで、大阪・関西万博の機運醸成を図る。</p>
事業内容	<p>＜対象者＞ 主に 20 歳以上の大坂～神戸間近隣エリア居住者</p> <p>＜周知方法等＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PR 用パンフレット (A4 両面) を日本語版 30,000 部、英語版 2,000 部と PR 用ポスターを作成 ・ 阪神電鉄、阪急電鉄の近隣駅での有料駅貼りポスター掲出 ・ 阪神電鉄、阪急電鉄の近隣駅での PR 用パンフレット配架 ・ 観光案内所、各酒蔵等でのパンフレット配架 ・ にしのみや観光協会、ひょうごフィールドパビリオン、阪神電鉄、Kiss PRESS 等のホームページに掲載 ・ GO! GO! 瀬戸内郷 公式 LINE に掲載 ・ 自身の Instagram アカウント「西宮日本酒部」(@ni shi nomi ya_ni honshubu) 内での投稿 (日本語・英語) 及び有料広告 ・ ツーリズム EXPO ジャパン 2024 にてパンフレット配架により PR <p>＜取組みの具体的な内容＞</p> <p>試飲チケット 4 枚付きのクリア枠 (ストラップ付) を販売し、各酒蔵をめぐることでチケット 1 枚と、試飲 1 杯及び自社ロゴのシールと引き換え。参加者はクリア枠の 4 面に自分がめぐった酒蔵のロゴシールを張り付け、オリジナルの枠を完成させる。</p> <p>コレクション欲を刺激しつつ、毎日参加できる通年、周遊型の企画を実施することで、ツアーやセミナー、大型イベントの無い日でも酒蔵エリアで楽しめる形をつくることを目的とする。</p> <p>なお、インバウンドにも遡及できるよう、英語のパンフレットも少数作成する。外国語対応が難しい酒蔵がほとんどのため、「試飲 1 杯とロゴシールをチケットと交換」という単純なオペレーションに統一する。</p> <p>(詳細)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 阪神西宮おでかけ案内所 (観光案内所)、白鹿クラシックス、白鷺禄水苑、日本盛 酒蔵通り煉瓦館、大関 甘辛の関寿庵で販売 ● 試飲チケット付クリア枠 (ストラップ付) を 10～1 月にかけて 500 セット販売 (11 月で無くなったため事業終了)

	<p>●各酒蔵でチケットと試飲1杯及び自社ロゴシールと交換 参加酒蔵は8社（白鹿、白鷹、日本盛、大関、寶娘、徳若、島美人、灘一）。試飲用日本酒費用とロゴシール作製費用は西宮日本酒振興連絡会で負担</p> <p>●ターゲットに周知を図るため交通事業者に協力を依頼 大阪～神戸間近隣エリアに広くPRするため、阪神電気鉄道株式会社、阪急電鉄株式会社での各駅での広告を行うとともに、両社での広報協力を依頼</p>
--	--

実施経過 (A)	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
実施経過 (A)	6	7	17	市役所会議室 各酒造会社 観光協会 各酒造会社 各酒造会社 各酒造会社 各酒造会社 各酒造会社 阪神電鉄 阪急電鉄 Instagram 各酒造会社	企画会議	4	
	6	7	22		企画参画打診	24	
	6	8	9		クリエイティブ制作会議	4	
	6	8	9		ロゴシールデザイン等校正	1	
	6	9	6		物品・広報物順次発注開始	1	
	6	9	14		広報物・チケットデザイン等校正	1	
	6	9	25		パンフレット配架開始	4	
	6	9	27		阪神・阪急電鉄・広告依頼	1	
	6	10	7		販売開始	5	500
	6	10	10		阪神電鉄広告開始	1	
	6	10	17		阪急電鉄広告開始	1	
	6	10	18		SNS広告開始	1	
	6	11	30		販売終了 (※翌月請求書発行、翌々月末支払期限)	5	
	7	2	12		清算手続終了	1	

目標の達成状況 (B)	<p><数値目標></p> <p>販売予定期間（10月上旬～1月末）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酒蔵関連施設来訪者数延べ：75,000人（昨年度実績の約1.1倍）
	<p><達成状況></p> <p>予想を大幅に超える販売数であったため、11月中には販売が終了したことから、数値目標として設定していた10～1月末ではなく10～11月末を対象期間として再設定。</p> <p>販売期間（10月上旬～11月末）</p> <ul style="list-style-type: none"> [目標] 酒蔵関連施設来訪者数延べ：35,000人（昨年度実績の約1.1倍） [結果] 酒蔵関連施設来訪者数延べ：30,058人（昨年度実績の約0.95倍） <p>結果として目標を達成することはできなかった。</p>

	<p>検証すると 1 つの酒蔵関連施設が例年 10 月に実施していた大規模イベント（推定 3,000 人）が非開催となつたため、延べ人数のマイナスに大きく影響したものと思われる。（来訪数昨年度実績の 0.78 倍となつてゐる）</p> <p>また、別事業ではあるが前年度まで 10 月から開催していたスタンプラリー企画を謎解き企画に変更し、さらに開始を 11 月からとしたことも影響しているものと思われる。</p> <p>前述の大規模イベント非開催の酒蔵関連施設を除いた場合に、その他施設の平均来訪者数増加比率は昨年の約 1.09 倍となり、本イベントが酒蔵関連施設来訪者数増に寄与したと考える。</p> <p>なお、SNS 広告に関して 12 月に 2 回目の広告を予定していたが、11 月末で終了したため広告は実施せず。</p>
事業効果 (C)	<p>本件を含め様々な酒蔵エリアでの企画を発信することで日本酒ファン層の拡大を図り、酒蔵地帯に一定の集客が見込まれることから、飲食店等の地域商業者に対する経済的波及効果が期待できる。</p> <p>市内酒造会社が市や観光協会、商工会議所と一体となって本事業を実施することにより、酒造業界および酒蔵地帯全体の活性化と大阪・関西万博の機運醸成が図られる。</p>
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望 (D)	<p>本事業はひょうごフィールドパビリオンのブラッシュアップと位置付けており、今年度に試験的に実施することで改善点を洗い出し、大阪関西万博の本番につなげることを目的としていた。</p> <p>結果として予想を大幅に上回る早さで完売、お客様からの口コミも上々であったが、実施したことで課題も複数判明した。</p> <p>＜課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 販売場所を主要酒蔵アンテナショップに広げ、お客様の購入利便性は高まったが、特に店員の少ない店舗ではチケット付き枠の販売が店内オペレーションの負担となつてしまつた ② チケット 1 枚につき各酒蔵統一で 60ml の日本酒提供を行つたが、全て使用すると 240ml となりお酒に強くないお客様は酔つてしまい、追加の有料試飲や購入の妨げとなつてしまうケースも散見された ③ インバウンド向け（FIT）に英語でのパンフレット、SNS での発信は行つたがイベント参加者は少なく（そもそも市内インバウンドが少ないため）、情報が届かなかつた <p>＜今後の展望＞</p> <p>課題について修正を行い、大阪・関西万博が開催される 2025 年 4 月中を目標として、NISHINOMIYA SAKE LOGO COLLECTION を再開し、ひょうごフィールドパビリオンのコンテンツの 1 つである通年イベントとして自主事業での実施を予定。</p> <p>課題の修正について、①の店内オペレーション負担が大きかつた店舗については、希望を確認したうえでチケット付き枠の販売を取り止めとする。②の提供試飲量については酒質を上げたうえで 30~40 ml の提供とし、総試飲量を抑え、追加の有料試飲や購入の促進に努める。③については本イベントだけにとどまる課題ではないが、近郊ホテル等での紹介用観光素材として活用いただけるよう営業を行う予定。</p>

事業実施状況を示す写真



B-1 自主防災組織による防災訓練と炊き出し訓練

／武庫第6コミュニティ委員会

活動地域	① (尼崎) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 :) 					
協働団体						
事業の目的	大規模な災害の発生に備えて、住民一人ひとりが自分の身を守る「自助」とともに、普段から顔を合わせている地域や人々が集まって、互いに協力し合い、防災活動に取り組む「共助」の強化を目指し、被害の軽減を図る。					
事業内容	<p>1. 初期消火訓練</p> <p>尼崎市西消防署武庫分署署員 8 名の指導のもと、水消火器 5 本の使い方と火ともに向かって噴射する訓練を 3 回交代で実施した。その後、消防署班長より初期消火の重要性や最近の火事の現況、災害時の対応等について講話を聞き、住民から多数の質問があり消防署からその回答を得た。</p> <p>2. 自治会所有の防災資機材の取り扱い訓練</p> <p>最初に段ボール式の簡易トイレとそれに付随するテントの組み立て訓練を実施した。続いて、発電機を住人に発動してもらい、ラジオやランプが動くか体験した。また、スマートホンなどの携帯電話を充電できるか訓練した。</p> <p>また、携帯トイレを参加者全員に配布して、その使い方について訓練するとともにパークタウン西武庫団地 5 号棟北側広場に災害時のための屋外トイレのマンホールが 5 基設置されていることも説明した。</p> <p>さらに、兵庫県が阪神淡路大震災の経験をもとに作成した「防災絵本」3 種類について説明・PR するとともに、常時自治会事務所に設置しているとともに住人に貸し出しへ行うことを説明した。</p> <p>3. 情報伝達訓練</p> <p>津波が発生したとの情報を自治会の本部長から各部長へ、そして住民へいかに正確に早く伝達できるか訓練した。</p> <p>4. 避難訓練</p> <p>津波が来るとの想定で、参加者が 3 班 30 名ずつに分かれ、8 号棟、9 号棟、10 号棟の 3 階まで避難する訓練を行った。</p> <p>5. 炊き出し訓練</p> <p>多人数への食事提供を目的として、カレーを調理して参加者に提供した。</p> <p>調理にはパークタウン西武庫自治会が所有する鍋等を使用するとともに、災害時を想定してカセットコンロを使用した。</p> <p>なお、尼崎市保健所の許可を得るとともに衛生面、安全面には万全を期した。</p>					
実施経過 (A)	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数
						スタッフ
	6	4	22	パークタウン 西武庫	役員会の開催	6
	6	4	26	"	実行委員会の開催	20
	6	5	20	"	事業の準備	30
	6	5	26	"	事業の実施	30
						150

目標の達成状況 (B)	参加者はパークタウン西武庫団地、元町3北、BHL 武庫豊町等から約150名になるとともに、尼崎市、社会福祉協議会、民生児童委員、少年補導員、老人ホーム、包括センタ一等の職員の参加を得て充実した訓練となった。
事業効果 (C)	地域住民に対して、各種訓練を体験していただくことで、日頃から災害等に備えることの大切さや災害時における行動等についての意識付けとなり、地域防災力の向上につながった。 また、各戸での備蓄することの重要性や自治会で所有する緊急備品を確認することができた。
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望 (D)	自治会で防災に関する経費を毎年予算化するとともに、防災訓練(救命・消化含む)を毎年実施していくこととする。 また、備蓄品についても何が必要か今後検討するとともに可能な限り購入していく。

事業実施状況を示す写真



B-2 都市農地を活用した地域コミュニティ活性化事業／園北ファーム

活動地域	<p>1 (尼崎) 市</p> <p>2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 :)</p>
協働団体	
事業の目的・趣旨	現在の都市農地を「都市農地賃借法」により借り受け、都市農地をコミュニティファームとして、地産地消、農作業体験・収穫体験、各種イベントなどの農的活動を展開し、だれでも参加し、つながり、楽しめる農園として、畠を拠点に地域コミュニティの再生・活性化につなげる。
事業内容	<p>1. 地域での畠で朝市や畠のスーパーなどの開催で、地域の子どもたちやお年寄りが畠に野菜を買いに来て、にぎやかなコミュニティファームづくりが進んでいる。新鮮でおいしい野菜を提供できるのも都市農業のみりよくである。</p> <p>2. マルシェ出店（隨時開催）や各種イベントの要請などに応じ、無農薬新鮮野菜を販売し、その地域のコミュニティ活性化につなげている。パン屋さん、食堂、カフェなど、あま野菜として使っていただき喜ばれている。</p> <p>3. 保育園、小学校の農作業体験や収穫体験 保育園や幼稚園児、また小学校、地域の子ども会等を対象に、ジャガイモ、サツマイモ、大根、田能の里芋等の栽培、収穫と食育など、子どもたちに歓声と感動をとどけることができた。また、農業の面白さや喜び、その大切さを学んでもらった。</p> <p>4. 都市農地で各種イベントの開催 残念ながら畠で火を炊くのはダメとなり、「多世バーベキュー交流イベント」は開催することができなかった。 LGPT人や不登校児童なども畠にきて農作業体験等で、人と人とのつながる楽しみを体験できるイベントを開催します。</p> <p>5. SNSなどの広報活動や多方面のグループとつながり、広く市民に都都市農業への参加を呼びかけ、多くの人たちが畠に来てくれた。</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	24	4	6	神崎ファーム	LGPT@里芋植え付け体験		
		5	26	神崎ファーム	農作業体験（成良中学）		
		5	29	善法寺ファーム	環境体験学習（園田北小学校・尼野菜を学ぶ）		
		6	1	善法寺ファーム	畑が朝市・スーパー		
		6	5	武庫の里ファーム	環境体験学習（武庫小学校・サツマイモ植え付け体験）		
	24	7	6	善法寺ファーム	親子で収穫体験		
		7	15	神崎ファーム	成良中学農作業体験		
		7	19	神崎ファーム	B型作業所収穫体		
		9	13	善法寺ファーム	園田中学トライやるウイーク		
		10	16	武庫の里ファーム	環境体験学習（武庫小学校・サツマイモ収穫体験）		
		10	20	神崎ファーム	親子里芋収穫体験		
		10	22	神崎ファーム	夢の園保育園・サツマイモ堀体験		
		10	30	神崎ファーム	善法寺保育園		
		11	1	園和小学校	二十日大根植付け		
		11	10	尼崎市役所	尼崎市農業祭		
	25	11	16	東園田学習プラザ	鉢植え・田能の里芋収穫		
		11	25	神崎ファーム	小園中学・里芋収穫他県		
		12	4	神崎ファーム	園田北小学校環境体験学習・里芋収穫		
		12	5	神崎ファーム	小園小学校環境体験学習・里芋堀		
目標の達成状況	<p>インスタフォロワー数 現在 450 人を 1000 人</p> <p>この一年で、フォロワーが 450 人から 860 人と約倍に増えた！</p>						
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> 朝市、畑スーパー、マルシェ、作業体験、収穫体験、イベント等、畑を拠点にしたコミュニティ活動により、地域の賑わいを創出し、地域コミュニティの活性化につながった。 畑には近隣地域の人たちだけでなく、尼崎全域からイベントへの参加、またボランティアとして農作業に参加する人も多く、他地域への波及効果があった。 都市農地をひきこもり、不登校、社会的弱者等の居場所として位置づけ、社会的課題にも向き合うことで、その課題解決の糸口になった。令和 7 年度、尼崎市の委託を受けて、コミュニティファームを活用し、その居場所づくりをすすめることになった。 						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>この 3 月で善法寺ファームと神崎ファームが、地主さんの意向で農地を返還することになった。今後は田能地域にコミュニティファームの拠点を移しことなる。</p> <p>令和 7 年度からこの田能の農地で、これまでの取組みに加えて、尼崎の委託を受けて「コミュニティファームを活用した居場所づくり」を実施する。内容はひきこもりや不登校のこども・若者、外国籍住民、生活困窮者等の就農体験やイベントなどである。</p> <p>尼崎市の伝統野菜・田能の里芋のブランド化に向けて、市民 3 団体と JA、コープこうべ、大和肥料、それ行政との協働で田能の里芋ブランド化推進協議会を立ち上げた。このブランド化を通じて、学校給食、量販店、お店等へ販売体制をづくりを進め、コミュニティービジネスとしても成果をあげたい。</p>						

【事業実施状況を示す写真等】



大人も子供も 皆で育てて食へよう!!

武庫の里アーム

新鮮野菜栽培講座

参加者 大募集！

あじえい！

初心者向けの野菜って何?

肥料や資材、沢山あってどれが良いか分からない?

上手な野菜の育て方って?

わからない事だらけ!誰か教えて!!

武庫の里アーム 新鮮野菜栽培講座に 参加しよう!!

“新鮮野菜栽培講座”とは

種・苗・肥料・資材・農具等は園北7アールが全てご利用れます。おいしい野菜の作り方も、園北7アールのメバーガーデンづくりから収穫までしっかりと学べ、育てた野菜は収穫し、お持ち帰りいただけます！園北7アールのメバーと一緒においしい有機野菜を育てませんか？

“園北7アール”とは

園北7アールは元崎伝統野菜の田能里字を始め、鮮度の高い様々な野菜を栽培・販売しつつ、親子で参加できる収穫体験やバーベキューを開催している“地域ミニマップ”です。

“園場地図”

●実施場所 尼崎市武庫の里2丁目付近
尼崎市友南公園の隣 (園場地図参照)

●参加期間 2024年9月1日～2025年2月28日

●参加日 第2・第4日曜日

●参加料金 15,000円

●体験内容 肥料・資材・指導費・収穫物購入費含む
耕作り・種まき・水やり・施肥・収穫等
だいこん・カブ・白菜・キャベツ
ブロッコリー・にんじん・キャロテン等

●申込期日 2024年7月5日 10:00～

●募集人数 20組先着（1世帯につき1組まで申込可）

●対象者 市内市外問わず参加可
歩行・自転車でお越しください。

●注意 ①栽培する野菜の種類・作業・手順等については講師の指導のもと一通りに作業をします。
②栽培する野菜は決まっていますので、自由に植え付けることはできません。
③農地に入る事が出来る日は参加日のみとなります。
右記のQRコード、または
下記の連絡先へのお電話にて
お申込みください。
TEL: 090-3490-8624 (内田)

QRコード

令和6年度阪神南ふるさとづくり応援事業を活用しています。

B-3 いちゃいばちょーでー(出会えば兄弟)/NPO 法人関西沖縄文化研究会

活動地域	1 () 市 ② 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町: 伊丹市、西宮市、神戸市)					
協働団体						
事業の目的	沖縄にルーツを持つ人、韓国朝鮮にルーツを持つ人など、舞台芸術を通して様々な人が交わり異文化芸能の共演で交流すること、また観客(客席)の中でも交流が生まれることを目的とする。					
事業内容	琉球舞踊「かせかけ」「四季口説」「瓦屋」「高平良万歳」「谷茶前」「花風」 韓国舞踊「祈願舞」「ポック舞」 沖縄民踊「かりゆし遊び」「わした踊いしんかぬ達」 チベット民謡「幸せの花」「ギャツオメメ」「里の秋」(日本唱歌) フォーククローレ「コンドルは飛んで行く」「アチャチャウ」「ラロンダ」を披露 最後の演目「花風」では、地謡の琉球音楽とフォーククローレとのコラボレーション					
実施経過 (A)	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数
	6	6	5	沖縄県那覇市	音楽打合せ	4
		8	25	西宮市琉球料理にしむら家	出演者顔合わせ	20
		9	12	豊中市フローレスデュオ事務所	音楽打合せ	4
		10	30	西宮市琉球料理にしむら家	照明、司会打合せ	5
		11	29	アルカイックホール・オクト	リハーサル	50
		11	30	アルカイックホール・オクト	公演開催日	60
目標の達成状況 (B)	観客数は415名で県民や関西圏からだけではなく、東京や北海道からの来場者もあった。また、終演数日後、来場者から内容を聞いた人から「次はいつやるのか?」や「来年も見たい」といった感想を多くいただいた。600名の観客数には届かなかったが、これまで見たことのない音楽や踊りを見た観客が喜んでくれたことが伝わってきてるので、目標は達成できた。					

事業効果 (C)	公演時間約2時間の中で琉球、韓国、チベット、ペルーそれぞれの民族衣装を見ること、楽器やリズム、言語(歌詞)を聞かせることが出来たことは、観客にとって理解を深め多様性を受け入れるよい機会づくりになったと思う。
補助金交付 終了後の事 業展開、 今後の展望 (D)	このたびの公演をきっかけに、韓国舞踊チームから韓国で「合同公演開催」が決定。 フォルクローレチームと琉球音楽・舞踊のコラボレーション公演計画中。 琉球音楽チームの「関西公演」を秋以降開催予定。 といった、交流をさらに深める活動へ発展している。

事業実施状況を示す写真



B-4 園田チョウコドモも会 花火大会／園田チョウコドモも会

活動地域	1 (尼崎) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 :)					
協働団体	NPO 法人月と風と					
事業の目的	当会は、小さい子からお年寄り、障害のある人など、誰でも楽しみながら参加できるイベントを実施することで、多世代交流、地域の顔の見える関係づくりを図る。					
事業内容	<p>ミーツ・ザ・福祉×園田チョウコドモも会 コラボ企画 手持ち花火＆仕掛け花火大会 令和6年8月20日 19時30分～</p> <p>参加者が持参する手持ち花火を、小学校の校庭でみんなですることで、地域住民同士の交流を図った。</p> <p>NPO 法人月と風とが主催する「ミーツ・ザ・福祉」とのコラボにより、障害のある人も花火大会に参加。障害のある人とは普段接することが少ない人が多いため、交流する機会を作った。</p> <p>手持ち花火に加えて、噴き上げ・打ち上げの玩具花火を、プロの花火師の指導の下実施した。花火大会に行く機会が少ない小さなこどもや、障害のある人に、間近でいつもよりも派手な花火を体験してもらう機会を作れた。</p>					
実施経過 (A)	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数
	6	6	16	オンライン	ミーティング	5
	6	7	1	東園田フリー スペース	ミーティング	4
	6	8	10	東園田フリー スペース	ミーティング	5
	6	8	20	園和小学校	花火大会	18
	6	9	30	オンライン	ミーティング	5
目標の 達成状況 (B)	当日は、幼児からお年寄りまで集まり、友達や家族同士だけでなく、知らない人同士でおしゃべりをしながら、花火を楽しむ姿を見ることが出来た。					

事業効果 (C)	障害のある人が手持ち花火を子どもたちに配ったり、噴き上げ・打ち上げの玩具花火の担当をすることで、普段接することが少ない、障害のある人との交流を持つことができた。
補助金交付 終了後の事 業展開、 今後の展望 (D)	花火大会以外の活動も平均月1回程度（長期休みは2、3回）実施しており、継続することで、さらに地域での交流を広げていく。 また、昨年までの手持ち花火（参加者持参）に加えて、今回、仕掛け花火を初めて実施したことで、参加者から口コミで活動が広がることを期待している。 手持ち花火大会については、費用はかからないため、今後も継続して実施する予定である。地域の事業者等からの協賛を得ることができれば、仕掛け花火も実施したい。

事業実施状況を示す写真



B-5 武庫川髪の渡しコスモス園／髪の渡し花咲き会

活動地域	1 () 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町：尼崎市)
協働団体	
事業の目的・趣旨	<p>コスモスの花づくりを通じて、武庫川河川敷の環境改善に寄与するとともに、尼崎市民ほか兵庫県民に憩いの場を提供することで、地元住民の地域への愛着心を深めていくことを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種広報媒体を活用し積極的にPRを行うことで、様々な世代の来園を促す。 ・当該活動を継続していくよう、活動資金の確保及び実施体制の構築について検討を進める。
事業内容	<p>1. 地域活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種まきイベント(一般) 9/7 (土) 地元住民や近隣の企業等にもイベント及び寄付の呼びかけを実施。 当日の参加者はスタッフ合わせ 280 名で、子どもの参加者は 108 名。 ・種まきイベント(小学生) 9/9 (月) 初めて地元の小学校の 4 ~ 6 年生に授業の一環として種まきイベントを実施。 当日の参加者はスタッフ合わせ 190 名で、子どもの参加者は 180 名。 種まきイベントの参加者を累計すると 470 名と昨年の参加者 270 名より大幅に増加。 ・花見会 (清掃) 10/25 (金) コスモス園開園前に清掃と合わせて、花見会を実施。地元住民や近隣の企業等にチラシを配布。当日の参加者は 30 名。 <p>2. コスモス園の運営、広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開園期間 (駐車場開設期間) 10 月 28 日 (月) から 11 月 22 日 (金) まで 計 26 日間 ・駐車台数 6,144 台 ・来園者数 29,562 人(概算) ・フォトコンテストの実施 (10/28~11/30) あまがさき観光局と共に催。約 900 件の作品の応募があり、その中から最優秀賞 1 点、優秀賞 3 点、部門賞 6 点、入賞 5 点の計 15 点を選出。 ・フォトコンテスト受賞作品展の実施 2019~2024 年までの受賞作品を展示施設に展示。 令和 6 年 9 月 10 日 (火) ~9 月 17 日 (火) : 621 名 令和 7 年 2 月 15 日 (土) ~2 月 24 日 (月・祝) : 476 名

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	R6	6	18	武庫西生涯学習プラザ	運営会議	14	
		8	8	武庫西生涯学習プラザ	運営会議（実務者）	9	
		9	7	武庫川河川敷	種まきイベント（一般）	10	270
		9	9	武庫川河川敷	種まきイベント（小学生）	5	185
		9	10	上坂部西公園展示施設	フォトコンテスト受賞作品展示（1回目）		621
			～17				
		9	25	武庫西生涯学習プラザ	運営会議	15	
		10	25	武庫川河川敷	花見会（清掃）	5	25
		10	28	武庫川河川敷	コスモス園開園		29,000
		～11	22	上坂部西公園展示施設	フォトコンテスト受賞作品展示（2回目）		476
		2	15	～24			
		2	18	武庫西生涯学習プラザ	運営会議	14	
目標の達成状況					・種まきイベント 参加者 280 人（目標 250 人） ・コスモス園 来園者数 29,000 人（目標 40,000 人） ・フォトコンテスト受賞作品展 来場者 1,097 （目標 700 人）		
事業効果					種まきイベントでは、地元住民が主体となって行う従来の方法に加え、地元の小学生に授業の一環として参加してもらうことで、地域活動としてさらに定着させることができた。また、PRの一環として「フォトコンテスト受賞作品展」を開催し、地元住民以外にもコスモス園の活動を広く知ってもらう機会となった。 しかしながら、悪天候や猛暑による開花時期の遅れに伴う開園期間の短縮に加え、園内の雑草が増えたことでコスモスの生育が十分でなかったことなどから、来園者数は目標を達成できなかった。		
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望					・地元住民をはじめ、いろいろなチャンネルでこの活動を周知するとともに協力を仰ぎ、より多くの方を巻き込んでいく。 ・雑草対策として、新たな栽培管理方法を模索する。 ・資金面に余裕がないため、資金確保及び経費削減に向けての検討を引き続き行う。		

【事業実施状況を示す写真等】



コスモス種まき



コスモス園 花見会



コスモス園 開園時



清掃活動

B-6 おだ夏祭り2024／小田会

活動地域	<p>1 (尼崎) 市</p> <p>2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 :)</p>
協働団体	社会福祉法人尼崎市社会福祉協議会小田支部 尼崎市小田地区民生児童委員協議会
事業の目的	おだ夏祭り2024は、小田会を構成する各種団体が連携協力し、多くの子どもたちに楽しみと喜びを感じてもらうとともに、地域・世代間の交流やコミュニティづくり、あまがさき愛の醸成、まちの魅力とイメージの向上を目的として実施したもの。
事業内容	<p>1 開催日 令和6年8月1日（木）午後2時から午後9時まで (8月1日の午前は準備設営、翌日8月2日の午前は片付け、点検、清掃)</p> <p>2 場所 尼崎市記念公園内のベイコム野球場及びベイコム総合体育館前スペース (尼崎市西長洲町1丁目4-1)</p> <p>3 対象者 尼崎市的小田地区内を中心に子どもから高齢者までの多世代の方々</p> <p>4 事業の具体的な内容</p> <p>(1) がん具煙火の打ち上げ 子どもたちの夏休みの楽しみにつながるよう、がん具煙火を使用した花火大会を実施。公募したボランティア花火師16人が約10,000発の花火を打ち上げた。</p> <p>(2) たそがれコンサート 小田地区内の小中高校の吹奏楽部等に出演を依頼し、このうち潮小学校金管バンド倶楽部、大成中学校、小田中学校、小田北中学校の各吹奏楽部が出演、演奏（潮小学校は大成中学校と合同演奏）</p> <p>(3) あまがさきファイヤーフェアリーズの演技 定員に満たない消防団の募集及び防災意識の啓発向上を目的として、尼崎市消防団（女性）で編成するあまがさきファイヤーフェアリーズによる防災クイズ、手話、演技</p> <p>上記(1)から(3)まで延べ参加者数3,300人</p> <p>(4) BOAT RACE尼崎から出張モーヴィとウォーターパーク BOAT RACE尼崎の啓発及び地域貢献の一環として、大型ビニールプールによる水遊びやボーネルンド社製の遊具を使った学び・体験する場の提供</p> <p>(5) 新スポーツ (公財)尼崎市スポーツ振興事業団によるペタンク等の新スポーツや体力測定（握力、体脂肪）を通じた多世代交流の機会を提供</p>

	<p>上記(4)、(5)の延べ参加者数 500 人</p> <p>(6) 飲食店 上記イベント来場者へのサービス提供として、市内事業者を中心としたキッチンカーや露店を開設 出店者 10 店（うち 1 店は常設の店舗）</p> <p>事業全体で延べ約 3,800 人参加</p>						
実施経過 (A)	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
	6	4	11	小田南生涯学習プラザ	小田会総会にて実行委員会立ち上げの承認	80	
	6	4	17	同上	実行委員会のもとに会場部会を設置し 4/17～6/20 の期間に計 10 回開催	各 10	
	6	4	23	同上	実行委員会のもとに総務部会設置し 4/23～6/25 の期間に計 9 回開催	各 10	
	6	7	3	同上	実行委員会を 7/3～7/24 の期間に計 4 回開催	各 20	
	6	8	1	ベイコム野球場、総合体育館	おだ夏祭り 2024 の実施	約 100	3,800
6	10	2	小田南生涯学習プラザ	おだ夏祭り 2024 実行委員会	18		
目標の達成状況 (B)	<ul style="list-style-type: none"> 参加目標 5,000 人 ⇒ 子どもたちにとっては夏休み期間ではあったものの、平日開催となったこと、当日は気温上昇が見込まれたこともあり、申込段階では目標人数に達していなかったものの、当日の参加人数は達成できなかった。しかしながら、多くの子どもたち、成年、高齢者と幅広い年代の方が来場された。 広報チラシ 10,000 枚 ⇒ 広報用チラシ 12,000 枚、当日プログラム 6,000 枚を印刷 協賛団体・法人 50 団体・法人 ⇒ 36 法人、26 団体、3 個人から協賛をいただいた。 						

事業効果 (C)	<ul style="list-style-type: none"> ・小田地区内の法人、団体、個人が会員となっている小田会が主催することで、各種法人・団体との連携協力を得ることができた。 ・準備期間が限られ、また初めての企画・開催場所ではあったが、無事に開催することができ、実行委員にとって多くの学びと経験する機会となった。 ・会場の観覧席数が限られていたため、あらかじめ来場者数を把握する必要があったが、SNSを活用して効率的に準備を進めることができた。 ・イベントは、がん具花火の打ち上げをメインに、小中学生によるたそがれコンサート、ファイヤーフェアリーズ、ウォーターパーク、出張モーヴィ、新スポーツと盛りだくさんのコンテンツにすることで幅広い年代の方が参加され多世代交流の機会となった。 ・当日は気温上昇が見込まれたこともあり目標の参加人数は達成できなかつたものの、多くの方の歓声や拍手が自然と沸き起こり盛り上がったイベントとなつた。 ・懸念していた熱中症については5人の体調不良者がいたものの、様々な対策や注意喚起を促すことで抑制効果はあった。しかしながら熱中症が懸念される時期で開催したことは反省点である。
補助金交付 終了後の事 業展開、 今後の展望 (D)	<ul style="list-style-type: none"> ・小田地区内の法人、各種団体の連携協力のもと実施できたもので、今後もそれぞれの法人・団体のつながりを生かした企画を検討していく。 ・今回の事業では、子どもから高齢者まで幅広い年代の方がイベントに参加されたものの、企画段階、会議体には若年者の参画がなかった。今後は中高生・大学生年代の若年層を企画運営段階から参画してもらうことで年代を超えた関係づくりや交流の機会の創出に繋がる。 ・事業を継続していくためには資金面が課題の一つとなる。今回は小田会からの出資のほか、企業団体からの協賛金、県補助金で開催できたが、資金づくりを含めた事業運営が課題である。

事業実施状況を示す写真



B-7 令和6年貴布禰神社夏季大祭 だんじり祭り (だんじり祭り体験型親子イベント)／貴布禰太鼓地車保存会

活動地域	1 (尼崎) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 : 対象市町 : 尼崎西本町・阪神出屋敷・阪神尼崎 周辺)							
協働団体	無し							
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> より良い親子関係を築くためのイベントを通じて生まれるコミュニケーションの場を提供し、新しい関係性を築くイベントとする。 若年層の社会的孤立化の進行進む中、祭りを通じて居心地の良い場所を持つとともに、何かあった時に支えとなってくれる仲間との関わりを築ける環境をつくる。 300年から受け継がれる尼崎の伝統文化を後世に継承する。 							
事業内容	<p>(対象者) 辰巳町、中在家、北出、西櫻木、東櫻木、新三和、西町、御園町、南出、各町の氏子及び関係者</p> <p>(実施方法と取り組み内容)</p> <p>7/31 町内廻り（試験曳き） ・地車・太鼓が各町を巡回曳行し大祭のお知らせ</p> <p>8/1 宵宮 ・阪神尼崎駅から貴布禰神社まで地車・太鼓がパレード ・貴布禰神社境内に地車・太鼓が宮入り ・貴布禰神社境内にて辰巳太鼓による暴れ太鼓の演技</p> <p>8/2 本宮 ・地車山合わせ</p> <p>(周知方法) ・貴布禰神社夏季大祭ポスター ・貴布禰神社夏季大祭瓦版（チラシ）</p>							
実施経過 (A)	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数		
						スタッフ	参加者	
	24	4	1	貴布禰神社社務所	定期会議(毎月実施)	15	15	
	24	4	10～	各社協賛廻り	協賛ご協力のお願い	15	100	
	24	5	31	各社協賛廻り	告宣伝物の制作と配布	10	100	
	24	7	1	尼崎市内	伝統を継承するための練習	15	60	
	24	6	9～	鳴り物練習				
	24	7	28					
	24	7	31	阪神尼崎駅周辺	町内廻り(試験曳き)	30	800	
	24	8	1	貴布禰神社社	宵宮 ・地車・太鼓がパレード	30	800	
					・地車・太鼓が宮入り	30	800	
					・辰巳太鼓、暴れ太鼓の演技	30	50	
目標の 達成状況 (B)	本宮 ・地車山合わせ						30	800
	<ul style="list-style-type: none"> 来場者数 5万人→5万500人 伝統を継承するための鳴り物練習を行う事で、鳴り物のたたきてを育成する事ができた。 							

事業効果 (C)	<ul style="list-style-type: none"> ・親子イベント参加における親子の信頼関係の向上をする事ができた。 ・貴布禰神社の大祭（神事）遂行による地域の安寧を保つ事ができた ・尼崎伝統文化の発展を図る事が出来た。 ・だんじり社会を通じた青少年の育成をする事ができた。 ・地域周辺の活性化を図る事ができた。 ・地域のコミュニケーションとなる場所を提供する事ができた。
補助金交付 終後の事業 展開、 今後の展望 (D)	<p>だんじり祭りを通じて、地域の活性を図り、よりよい地域に発展させて行きたいと考えています。又、若年世代からの祭りの参加者を増やし、後世に引き継ぐ人材を確保して行きます。</p> <p>資金面では、協賛者、協賛企業の募集を強化し、余裕のある事業運営ができるよう努めます。</p>

事業実施状況を示す写真



B-8 相続、空き家・空き地の未然対策による持続可能なまちづくり事業
/一般社団法人地方創生パートナーズ

活動地域	① (西宮、尼崎) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 :) 						
協働団体							
事業の目的	少子高齢化に伴う人口の減少が進む中で、相続をどのようにしたらしいのか？空き家になってしまうがどのように対応したらいいのか？こうした相続、空き家、空き地に関わる様々な問題を所有者だけでなく地域全体の課題として、相続、空き家空き地等の適正な管理の普及活動を行うことで持続可能なまちづくりへと繋がる活動をすることを目的とする。						
事業内容	市民会館、公民館などの「相続、空き家対策セミナー」、個別相談会実施 対象者：市民、相続、空き家・空き地問題に関心のある者 実施方法：セミナー、個別相談会を開催 周知方法：市の会報、HP、チラシ、一般社団法人地方創生パートナーズの HP、SNS 等						
実施経過 (A)	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
	6	6	20	西宮市民会館	セミナー、個別相談会	8	20 3
	6	6	27	尼崎市立サン シビック	セミナー、個別相談会	8	14 3
	6	9	18	西宮市大学交 流センター	セミナー、個別相談会	9	16 4
	6	10	25	尼崎市立武庫 西生涯学習プ ラザ	セミナー、個別相談会	9	12 6
	7	1	16	尼崎市立小田 南学習プラザ	セミナー、個別相談会	12	1 1
目標の 達成状況 (B)	個別相談件数 20 組に対し、17 組。						

事業効果 (C)	<p>単に相続、空き家対策セミナーではなく、個別相談、アンケートを通じ、地域の現状把握もできている。仮にセミナーに参加されなくても、市の広報やHP、SNS、チラシ等で市民の目につくことによって関心が高まってきている。</p> <p>本セミナーをきっかけに従来空き地や耕作放棄地等の相談が急増している。空き家に関しての相談できる団体は存在するが、空き地や耕作放棄地、相続土地国庫帰属制度について相談できる団体として、団体構成員も増加している。</p>
補助金交付 終了後の事 業展開、 今後の展望 (D)	<p>空き家、空き地対策だけでなく、遺贈寄付を利用した相続対策を展開。</p> <p>2025年には、団塊世代が全員75歳以上を迎えるひとり様、相続人のいない高齢者が増加しており、現状のままでは、空き家や所有者不明土地になる可能性が高いが、未然対策を行っていくことで事業につなげていく。</p>

事業実施状況を示す写真、チラシ等

西宮市セミナー



尼崎市セミナー



B-9 もっとみやしる 2024 ／西宮商工会議所 青年部

活動地域	1 (西宮) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 :)					
協働団体	西宮市 西宮市教育委員会					
事業の目的	西宮に縁のあるお店や企業と協力して、西宮神社を会場とし、市内を中心とした小学生に「街や地元の仕事を知り・楽しみ・好きになってもらう」事を目的としたイベントの実施					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 西宮に関するクイズラリー 達成者にはお菓子や郷土の名産等プレゼント (クイズラリーの冊子には西宮のトリビア等も掲載) ● 西宮の名産品や企業などに協力していただきワークショップ開催 ● 地元の仕事を子供たちに体験してもらえるブースを出店 ● 西宮に縁のあるキッチンカーや飲食店の出店 (テイクアウト形式) ● 子供たちの描いたイラストをステッカーにして名産に貼り販売 					
実施経過 (A)	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数
						スタッ フ
	24	4 ～ 10		芦屋日記	月に一度の実行委員会の会議	10
	24	10	上 旬		チラシ配布 HP 完成	20
	24	10	19	西宮神社	みやしる開催	60
	24	11	12	雅苑	絵馬の表彰の選考 & 打ち上げ	2500
目標の 達成状況 (B)	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベント子供参加目標 3000 人に対し約 1000 人 ・ 保護者・兄弟含め延べ目標 7000 人に対し約 2500 人 ・ スタンプラリー台紙および西宮トリビア冊子配布目標 2500 部に対し 2500 部 ・ ワークショップ参加人数 200 人に対し約 200 人 ・ お仕事体験ブース参加目標 500 人に対して約 800 人 ・ 名産品ラベル賞 イラスト参加目標 800 人に対し 100 人 					
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当日が雨にも関わらず、約 2500 人の方に来ていただけたのは、すごく良かった ・ 参加者の方からも、今年新たにチャレンジした、お仕事体験、働く車ブースの評判が良かった ・ 商工会議所青年部及び OB の仕事内容を西宮の方々に知っていただけたのが良かった 					
補助金交付 終了後の事 業展開、 今後の展望 (D)	・ 次年度以降は、今の内容をブラッシュアップしつつ、青年会議所らしく、「働く」をテーマにした部分はより深めていきたいと考えています。					

事業実施状況を示す写真、チラシ等



B-10 第8回西宮浜さくら祭／西宮マリナパークシティ協議会

活動地域	① (西宮) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 :) 					
協働団体	西宮浜マリナコミュニティ					
事業の目的	西宮浜の住民相互の親睦を図るとともに、住民が西宮浜の桜をはじめとする住環境の良さを知り、住みよい西宮浜の魅力を発信することによって、地域振興につなげる。 毎年開催し続けることにより、西宮浜で育った子供たちに「ふるさと」としての認識を育ててもらい、いったん地域を離れてもまた戻ってこられる街になっていきたい。					
事業内容	主として西宮浜の住民約7000人を対象として開催したが、お花見に他の地域から来ている方にも西宮浜の住宅地としての魅力が伝わることも期待して取組をした。 チラシの全戸配布と掲示により周知。ほかにも市政ニュースや宮っ子に掲載。 内容は ② 主として西宮浜公民館で活動する団体・グループのステージ発表。 ② 住民が集える場としての、飲食ブースの実施。中でもコミュニティカフェ（つどい場）にも参画してもらい、高齢者を中心とした住民にコミュニティカフェを周知した ③ ワークショップやゲームなどで住民同士の交流を行った。 ④ アートのまち西宮浜でそのために用意されたスペースを生かしてアートフリマを実施。 ⑤ 西宮浜産業団地の企業によるマルシェを今年度は拡大し、飲食だけではない各企業や団体の取り組みを併せて発表した。 ⑥ 義務教育学校生徒（中学生）によるボランティアの参加を得た。					
実施経過 (A)	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数
	5	11	19	西宮浜公民館	第1回実行委員会	8 10
	6	1	21	西宮浜公民館	第2回実行委員会	8 10
	6	3	17	西宮浜公民館	第3回実行委員会	8 15
	6	4	6	公民館・公園等	前日準備	6
	6	4	7	公民館・公園等	西宮浜さくら祭当日	30 1000
目標の達成状況 (B)	参加者数は目標の1000人前後を十分達成できた。 第8回を無事開催できた。					

事業効果 (C)	<p>毎年続けていくことで、住民の中に我がまち西宮浜の意識がはぐくまれており、地域の活動に協力的な住民も少しずつ増えてきた。西宮浜マリナコミュニティが設立され地域情報誌宮っ子が地域内で編集されるようになった。第1回第2回での一日限定コミュニティカフェの経験をふまえて、常設の「はまカフェマリナふらっと」もてきて主として高齢者の居場所となっている。</p> <p>今後は地域で活動する住民を増やし、地区社協の設立を目指している。</p> <p>また、防災にも力を入れている中で住民相互の関係づくりにも寄与しており、令和4年度から「西宮浜の防災・減災を考える会」が設立され、年に数回の学習会を継続的に開催している。その集大成として令和6年2月には防災フェスタ in 西宮浜という大きな防災イベントも実施した。</p>
補助金交付 終了後の事業展開、 今後の展望 (D)	<p>次年度以降も、毎年開催していきたいと考えているが、やはり資金面がネックになっている。企業協賛金に加えて、今年度は会場募金を集めるなど工夫をこらしているか、補助金がないと開催し続けることが難しいのが現状である。</p>

事業実施状況を示す写真



B-11 第77回西宮市民体育大会の「第11回小学生スナッグゴルフの部」
／一般社団法人西宮市ゴルフ協会

活動地域	1 (西宮) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 : 尼崎市 芦屋市 宝塚市 神戸市 加東市 ほか)
協働団体	兵庫県ゴルフ連盟 阪神南青少年本部 一般社団法人西宮カントリー倶楽部
事業の目的	スポーツの楽しさを味わい、健康で健やかに育ってもらうことを目的とし、また、児童生徒のゴルフへの関心を高め、将来のゴルフ普及のため、スナッグゴルフの練習会及びゴルフ場での競技大会を通じて児童生徒にルールやマナーの順守の精神を得てほしいという思いで実施しています。
事業内容	<p>今年度より、西宮市中央運動場 5 カ年計画で全面改修になり例年練習会に使用していたグラウンドが使用できなくなった。その代替とした浜甲子園運動公園は、西宮市中心部より遠く、児童が徒歩や自転車で参加するのが難しくなり、バスまたは自動車でしか行けないことになった。このため練習会参加児童は例年より半分以下になった。</p> <p>そして本年は、例年以上の酷暑となり 7/24 (水) 7/29 (月) 8/1 (木) 8/7 (水) の練習会は適宜休憩を取るなど“熱中症対策”を徹底し、児童、保護者、スタッフ、から熱中症になることもなく、楽しく、また熱心にスナッグゴルフの練習を行った。また保護者の方で練習に参加された方也有った。</p> <p>今回は、第 20 回の記念大会として、昨年の雨天中止で参加出来なかった現中学 1 年生にも参加を呼び掛け、また、保育園児童本人や保護者様からの強い要望もあって、保育園児も参加OKとした。また、西宮市内の“子ども食堂”にも参加の声掛けをしたが、あまりにも厳しい暑さのためか、例年に比して参加者が少なく残念ではあつた。</p> <p>8 月 16 日 (金) 大会当日は、前日までの酷暑が収まり、絶好の気候になりましたが、前日までにキャンセルされた方もおられた。西宮市及び近隣の合計 28 校の小学生 72 名とオープン参加の中学生 11 名および保育園児 5 名の参加となった。児童生徒は、男女 3 人のプロゴルファーの試技にどよめき、その後の練習での指導、また試合への飛び入り参加などでゴルフの面白さ、楽しさを教えていただき、感激していた。西宮カントリー倶楽部のきれいなコースで、比較的に穏やかな気候のもと、また多くの保護者様からの声援を受けて、お互いに励まし合いながら楽しくのびのびとプレーしていた。</p> <p>この結果、11/30 (土) 開催の第 21 回スナッグゴルフ対抗戦 JGTO (一社) 日本ゴルフツアーミュージック全国大会・三木ゴルフ倶楽部には、西宮市立苦楽園小学校と西宮市立神原小学校の 2 校が参加出来ることとなり、各々 6 人ずつ計 12 名が参加することになった。</p> <p>この結果 11 月 30 日 (土) の大会当日は良い天候に恵まれ、東は静岡県から西は沖縄県までの選抜された西日本の小学校 24 校、120 人の小学生が三木カントリーに集い、JGTO 副会長の倉本昌弘氏ほか、西宮出身の大堀裕次郎さんなどプロゴルファー 5 名も子供達と一緒にプレーし、終了後は子供達とゲームなどで遊び、参加者全員が楽しい一日</p>

	になった。当協会も大会出場に備えて、苦楽園小学校において月2回の練習会を行い上位入賞を目指したが、成績は苦楽園小学校が第14位、神原小学校が第18位と残念な結果になった。しかし全国大会に出場し、いろんな方と競技し知識を広め楽しく過ごしたこと、子供達も保護者の方も大いに喜んでおられた。					
実施経過 (A)	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数
	6	4				スタッフ
		5		西宮市 宮っ子	参加者募集の案内	参加者
		6		各小学校	参加者募集の案内	
		7	24	浜甲子園運動公園	スナッグゴルフ練習会	24 21
			29	浜甲子園運動公園	スナッグゴルフ練習会	21 12
		8	1	浜甲子園運動公園	スナッグゴルフ練習会	27 15
			7	浜甲子園運動公園	スナッグゴルフ練習会	21 22
			15	西宮 CC	第20回大会準備	35
			16	西宮 CC	第20回大会	49 87
目標の 達成状況 (B)		19		西宮 CC	第20回大会予備日	— —
		11	30	三木ゴルフ倶楽部	第21回JGTOカップ全国大会 in三木	3 11
	本年は第20回を迎える記念大会として例年以上の参加者を集めようと、早くから活動いろいろな所へ声をかけ、締め切りも長くし100人以上の参加者を目指しました。ただコロナ禍も明け、夏休みの旅行や、両親との帰省なども多くあり、一方例年以上の酷暑となり、先に書いたように練習場が遠くなり、これらのことから例年よりは少ない参加者となった。しかし当協会としては酷暑の中、スタッフ一同は、人集め、練習会、大会準備、大会、後片付けと、色々あったが事故もなく無事記念大会をやり終え、参加していただいた子供達、保護者に喜んでいただけたので、100%目標は達成出来たと自負しています。					

事業効果 (C)	<p>1. 今年の夏は例年にも増しての酷暑だったが、4回の練習会は、種々の熱中症対策を行い、スナッグゴルフのルールを学び、プレーの方法を伸び伸びと体得していた。</p> <p>2. 練習会においては、保護者も練習に参加し、また保護者との会話や連携も取り合い、その緊密化が図れたと思われる。</p> <p>3. この結果、小学生児童も保護者もゴルフへの関心をさらに深めたと思われる。</p> <p>これらのことは、大会当日のゴルフ場への参集状況、および保護者の児童生徒への声援状況からも如実にうかがえ、大会後のペイコムテレビでのインタビューでも楽しかったとかこれからもよろしくという声が多く、改めて関心の深さを感じた。</p>
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望 (D)	<p>西宮市ゴルフ協会は年間5回のゴルフ大会を開催し、12月25日の大会で第120回を数えます。大人の方は300人を超える会員様より年会費3,000円をいただき、ゴルフ競技に充てている。</p> <p>一方子供達に対しては毎年8月に（一社）西宮カントリー倶楽部、兵庫県ゴルフ連盟、阪神南青少年センターとの共催で小学生対象のスナッグゴルフ大会を開いているが、10月から令和7年の練習会場の確保のため10人の委員が活動している。西宮中央運動場が5年程度使用できないので、市内各競技団体が練習場の確保に動いており、このほどようやく来年度の練習場の4回分が確保出来た。また（一社）西宮カントリー倶楽部様とも来年度の日程を交渉しております。</p> <p>また2019年からは小学生・中学生対象にジュニアゴルフ教室を開き、西宮市内3カ所のゴルフ場などで現在約60名が月に1-2回の練習会に参加している。</p> <p>これらの活動で、大人から子供まで幅広く、ゴルフへの理解を深め、また小学生等に競技の楽しさと共にルールやマナーの順守等も伝達している。</p> <p>当協会は、地域連携、小学生等の健全な育成の観点から今後ともこれらの活動を継続して行きたい。</p>

※事業実施状況を示す写真



B-12 おさんぽガーデン Vol.7 / Osanpo Garden 実行委員会

活動地域	<p>① (西宮) 市</p> <p>2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 :)</p>
協働団体	兵庫県立大学学生災害復興支援団体「LAN」
事業の目的・趣旨	<p>西宮市は阪神淡路大震災で大きな被害を被った。しかし、今の若い人たちはその時のことを見知らぬ。そこで大震災を経験した私たちが、家族で震災について考えるきっかけとなるイベントができるのを目的とした。</p> <p>また、兵庫県立大学の学生災害復興支援団体「LAN」ができるきっかけとなった東日本大震災についても伝え、これから起こるとされている南海トラフ地震についても一緒に考えられるイベントにしたい。</p> <p>そのため、現役大学生たちにも協力してもらいつつ、震災の経験を伝え、併せて防災の大切さを子供も楽しめるイベントにして伝える。</p>
事業内容	<p>今年も現状通りマルシェ、ワークショップ、ステージ発表を行い、園児、児童が楽しめるイベントを目指した。同時に震災、防災に関するステージ発表などを行い、家族で楽しむおさんぽガーデンで、防災について考えるきっかけ作りを目指した。小学校にチラシを配布し、周知努力を行った。</p> <p>ステージ発表では、ダンス、歌、楽器、パフォーマンス、絵本の読み聞かせなど、楽しめるステージを行った。</p> <p>本部企画としては、『防災ごはんづくりのデモンストレーション』を計画した。災害時、電気や水がほとんど使えない状態でも焚けるご飯の作り方をデモンストレーションし、試食でおいしさを味わってもらった。同じ要領でパンも作り、こちらもアレルギーに配慮しながら試食を行った。また試食の際、防災ごはんのレシピと一緒に西宮市からいただいた防災等に関するチラシを配った。</p> <p>また、ステージ発表終了後、bingoゲームを行った。景品の一部は出店者から募り、出店者、出演者一同でおさんぽガーデンを盛り上げているという一体感を生んだ。また、bingoゲームを最後にし、来てくださった方が最後まで楽しく過ごせるよう工夫した。</p> <p>「LAN」の学生たちは防災に役立つ行動、動作を組み合わせた「防災障害物競走」を企画し、子どもたちが参加できるようにした。付け加えて、「LAN」の学生たちにステージでボランティア活動の経験談を語ってもらい、災害時の過ごし方等を学べる場を設けた。</p> <p>今年は上記に加え、介護の現場で働く有志の団体『エッセンシャルワーカー』の協力のもと、マイナスイメージの強い介護の現場を、ゲームや公園を通じて楽しく面白く身近なものとして伝えた。ぼっちゃんという障害者や高齢者でも楽しく遊べるゲームを企画し、参加者を楽しませた。またステージでは介護の現場で起こる様々な出来事を楽しく話してくれ、しんどいことの多い介護の現場でも楽しむことが大切だということを伝えてくれた。</p> <p>以上のように、様々な企画で防災について考えるきっかけができるようにした。</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	24	6		青い鳥等	出店者・出演者の募集開始 ボランティアの方たちとの会議	5 5	1 6
		8		青い鳥等	出店者・出演者の選定 チラシ作成 本部企画の会議	5 5 5	
		9		青い鳥等	防災企画の準備 ステージ発表の準備 本部企画の準備 ボランティアの方たちとの会議	5 5 5 5	
	25	10		青い鳥等	開催準備 前日会場準備 開催当日 翌日会場片付け・清掃	5 5 5 5	4 8 3000 20
		10	26	鳴尾浜臨海公園	後日支払いなどの清算完了	5	
		10	27	鳴尾浜臨海公園		5	
		10	28	鳴尾浜臨海公園		5	
	25	12		青い鳥等	反省会	5 5	
		1					
		2					
目標の達成状況					「防災ごはん」はステージと同時進行だったため、声が通らず予定人数がなかなか集まらなかつたが、会場内を案内して回り、定員数を集めた。 「LAN」や「エッセンシャルワーカー」のステージ発表では、災害ボランティアの話や介護の現場の話なども集まつた方が真剣に聞いてくださっていた。 「LAN」企画の「防災障害物競走」も「エッセンシャルワーカー」企画の「ぼっちゃん」も、それぞれのブースで子どもたちを中心に楽しく遊んでくださった。 また、bingoゲームにはたくさんの子供たちが参加してくれた。 今年も3000人超えの人が来場してくださり、家族でマルシェ、ワークショップ、ステージ発表などを楽しんでくださいました。		
事業効果					・イベントを実施することにより、西宮という都市部にありながらも自然に触れ合う場所が身近にあること、小さな子ども連れでも行けるあたたかいお店や交流の場があることを周知してもらつた。 ・ワークショップなどを通して、モノづくりの楽しさや人との交流の大切さを味わうことができた。 ・防災について知ることができ、ハザードマップなどを活用し、災害に備える力を身に付けられた。 ・災害時に自分たちでできることや、しなければいけないこと、不便な状況でも工夫次第で様々なことができることなど知つてもらうことができた。		

補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>・おさんぽガーデンは7回目を終え、イベントとしては周知されてきた。私たちも経験値が高くなり、より良いイベントになってきたと思う。</p> <p>・防災について考えるという企画は今回で2回目となる。昨年とは違うことをしながら、より楽しく、より深く考えるきっかけづくりになれば、という思いから計画したが、やはり反省点が多くある。もっと分かりやすく、もっと興味を持つてもらえるようにするためにどうすればいいかなどを考えていかなければいけない。例えば、計画書を提出した時にいただいたアドバイスにあったように、地震体験車を呼ぶことができれば、はるかにいい企画となっただろう。また、エッセンシャルワーカーの協力を得たので、せっかくなら災害時の高齢者対応なども合わせて企画できればよかったかと思う。</p> <p>・防災については、今後も考えていかなければいけない事柄なので、今年の反省を活かしつつ、地震体験車を呼べる方法がないかも再度検討しつつ、来年以降も続けていきたい。</p>
---------------------	---

【事業実施状況を示す写真等】



B-13 福祉施設等への訪問浪曲／西宮浪曲を楽しむ会

活動地域	① (西宮市) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 :)						
協働団体	広田参道を美しくする会						
事業の目的	<p>高齢化社会が進行し、高齢者の地域社会に出かける機会が少なくなっている。また高齢者同士が交流をする機会も少なくなってきた。この現状を開拓するため、身近な場所で浪曲を鑑賞できる機会を提供し、高齢者に生きがいと元気を与えることを目的に開催した。</p> <p>とりわけ、今回の「あづまディサービスセンター」への訪問浪曲は、3回目となります。ともすると単調な毎日になりがちな福祉施設利用者の方に、日常では味わえない浪曲鑑賞の機会を提供することに大きな意義あるものと考え実施しました。</p>						
事業内容	<p>★素人浪曲師（会長＝河野昌弘）が、教室で習いたての演目を披露しました。</p> <p>★令和6年2月頃に、ディサービスの施設長様から、「しばらく浪曲を聞いていないのでまた、当センターでの開催を希望しています。」旨の要望があり、実現に至ったものです。</p> <p>★* 演目と浪曲師 「一粒万倍」・・素人浪曲師「粟倉甲山」こと河野昌弘 *曲師（三味線）・・藤 初雪（この方はプロ） *司会進行役・・・後藤美典 （浪曲愛好家でずっと廣田神社浪曲寄席には、会場設営を始め、受付事務等も担当。）</p> <p>★聴講者数：約50人 （施設利用者と職員の皆様）</p>						
事業経過	年	月	日	場 所	実 施 内 容	参加人数	
						スタッフ	参加者
	6	2	初旬	電話にて	訪問浪曲の開催要望有り	会長1名	
	6	4	1	ラインにて	曲師の藤さんに出演日程の確認を取る。	会長1名	
	6	6	1	郵送	兵庫県に交付申請書提出	会長1名	
	6	6	3	メールにて	県より補助事業採択通知を受ける。	会長1名	
	6	7	1	電話にて	ディサービスセンター長と日程などについて協議	会長1名	50名
	6	9	17	自宅にて	当日配布資料を作成する	会長1名	
	6	9	19	あづまディサービスセンターにて寄席を開催	午後1時半から同2時15分まで訪問浪曲を実施。参加者施設職員含め50名参加。	浪曲・曲師・司会進行役で当方3名	

目標の達成状況	<p>① 今回は、当施設での開催も3回目で有りますので、これまでの演目と西宮浪曲を楽しむ会の概要などを予め知っていただいた方が良いかと、1枚物のペーパーを作成しました。</p> <p>② これを当日配布し、皆様に読んでいただきました。</p> <p>③ 席上、浪曲の楽しみ方について少し解説をしました。</p> <p>④ 皆様、静かにご鑑賞いただきました事と、中途で大きな拍手を頂き、出演者としてこの上なく嬉しく思いました。</p>
事業効果	これまで、廣田神社浪曲寄席を開催した後に、残金に会長の自己資金を投入して、市内の老人ホームやディサービスセンター、ふれあい昼食会などの会場に出かけて、訪問浪曲を実施しています。こうした活動を通じて、高齢者の方々に昔懐かしい浪曲を楽しんでいただいている事は、意義あるものと存じております。
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>西宮浪曲を楽しむ会の大きな事業である廣田神社浪曲寄席も今年で第11回目を 9月7日に実施しました。資金面では、企業協賛のお陰で、入場料は1000円で済んでいますが、協賛企業も減少傾向です。ファンの方もご高齢で年々少なくなっているように思われます。今年もこれまで以上にPRした結果開催出来ました。今後も何とか、昔の芸能を伝承し皆様に喜んで頂けるように努力したいと思っております。</p> <p>今回の様な福祉施設への訪問浪曲も継続致したく存じますが、資器材の搬送や準備等も大変になってきております。</p> <p>出来る限り継続できるよう頑張って参ります。</p> <p>お手伝い頂いた方々の力も借りながら、日常でのPR活動により参加者の増を図り、現代社会が失いかけている心の通い合う、地域社会づくりを目指したいです。</p> <p>併せて、若い方への古典芸能に触れる機会を設定することに努めたい。</p>

事業実施状況を示す写真



B-14 2024 西宮ぎゃらりーさんぽ／西宮ギャラリー連絡会

活動地域	① (西宮 芦屋) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 :)
協働団体	
事業の目的	<p>西宮ギャラリー連絡会は、アートを通して街の魅力を高めて発信するために組織している。</p> <p>「西宮ぎゃらりーさんぽ」は、西宮市大谷記念美術館と連携して、ギャラリーの展覧会をスタンプラリーで巡ることで「街のギャラリー」の存在を知ってもらい、多くの人にアートを身近に感じてもらうきっかけになることを目的としている。</p>
事業内容	<p>2024 西宮ギャラリーさんぽ</p> <p>西宮市大谷記念美術館の「2024 イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」(8/17～10/14)の会期と合わせて 西宮市内のギャラリーで、今年または過去の入選作家など絵本に関わる展覧会や、地元作家の個展など 44 の展覧会を開催し、それらをスタンプラリーで巡るイベントとして 8/24～10/14 の期間実施した。</p> <p>展覧会数は 芦屋市の『はるのうた』喫茶店が新たにメンバーに加わり、西宮ギャラリー連絡会の展覧会が 36 他団体の展覧会が 8 で合計 44 展、過去最高の展覧会数となった。会場は NGL の 9 ギャラリーと西宮市立北口ギャラリー、西宮市立市民ギャラリー、西宮阪急、阪神鳴尾駅前の「みんなのちっちゃなアートボックス」(鳴尾自治会＆武庫川女子大主催) の計 13 カ所で行った。</p> <p>今年はパンフレットデザインを一新して展覧会情報をカレンダー形式で掲載、マップも詳しくして参加者の便宜を図った。ギャラリーは西宮市内に点在しているが、近隣のギャラリーの会期が重なることで、来場促進効果があった。</p> <p>またこのパンフレットを台紙としたスタンプラリーも好評で、プレゼントの景品（ノート or みやたんボールペン）も喜ばれた。</p> <p>大谷美術館のボローニャ展の入選者 4 人全員が個展を開催してくれて反響が大きく、大谷美術館との連携は有意義だと感じた。展覧会を巡る中で作家に会えたり、スタッフとの会話を楽しんだりしてアートを身近に感じた方が多かった。</p> <p>アンケート結果からも 総数 136 のうち 大変よかったです 67 よかったです 27 の回答に好評だったことがうかがわれる。会場の総入場者数 9,240 人</p> <p>また、今年は能登半島地震の復興支援の一環として、アート山大石可久也美術館の協力で、絵本「あさいち」を 50 冊用意して会場で紹介、販売をした。絵本は完売して、利益は義援金として日本赤十字社に寄付される。</p>

	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数				
						スタッフ	参加者			
実施経過	4	4	1	事務局	事業の準備会議	9				
		5		各ギャラリー &事務局	展覧会企画 参加団体確認 パンフレット作成					
		6								
	7	24		事務局	パンフレット発送作業	9				
		8	24	各ギャラリー	「ぎゃらりーさんぽ」開始	9	延べ 9240			
	8 ~ 10	14		各ギャラリー	「ぎゃらりーさんぽ」終了	9				
		10	22	事務局	事業の総括会議	9				
	11	18		事務局	報告書作成	2				
	11	30		事務局	残務整理	2				
目標の達成状況	実施展覧会数 44 展 来場者数 延べ 9,240 人				今年は会期が長く、また芦屋のギャラリーがメンバーに加わったこともあり、展覧会数、来場者数共に過去最高になった。このイベントが少しずつ知られてきて、西宮、芦屋市民や近隣の市からもギャラリーを訪れてアートを楽しんでくれる人が増えてきたことを感じる。また大谷記念美術館や、他団体との連携も事業の広がりが感じられる。					
事業効果	会期の初め8月、9月が大変暑くてギャラリーを回るのがたいへんだったが、それでもこのイベントを楽しんで下さる方が多く、NGL ギャラリーと共に、市民ギャラリー 北口ギャラリーの展覧会、西宮阪急、「みんなのちっちゃなアートボックス」(鳴尾自治会&武庫川女子大) 等がこの期間に開催することで 今まで知らなかつた会場を知つてもらい、足を運んでもらうことができて、それぞれの展覧会の来場者が増えることにつながつた。また、今年新たに芦屋の『はるのうた』喫茶店がメンバーに加わったことでさらにイベントが広がつたと感じている。 スタンプラリーに協力してくださった市民ギャラリー 北口ギャラリーの指定管理業者双葉化学商会からも公共のギャラリーを訪れる人が増えたことで喜んでもらつてゐる。									
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	今後多くの人にアートを身近に親しんでもらえるよう、「ぎゃらりーさんぽ」企画は続けていきたいと考えている。 西宮市立大谷記念美術館との連携の継続、各ギャラリーの展覧会の充実、近隣のギャラリーの会期ができるだけ重なるように計画すること、また無理のない範囲で他団体と協力することも今後さらに検討していきたい。 また資金面では 会費や協賛費の増額、スポンサーの獲得など、補助金に頼らない事業運営ができるように努めていきたい。									

事業実施状況を示す写真



**B-15 きたろく里山音楽祭 2024(第10回記念音楽祭)
/県民交流広場北六甲台校区協議会**

活動地域	1 (西宮市) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 :)
協働団体	
事業の目的	西宮市北部の山口町エリアを音楽で活性化させ、地域の交流を深めるために12年前に【きたろく里山音楽祭】を企画立案し、現在に至っています。 コロナ過で休止の年もありましたが、本年度は記念の10回目となりますので、盛大に開催し、地域の交流を深めます。
事業内容	<p>地元及び三田市のアマチュア音楽家15組を招聘し、【第10回記念音楽祭】を開催します。</p> <p>開催日時：令和6年9月29日(日) 開催場所：西宮山口ホール 入場予定：1,500名 開催時間：9:00～16:30 出場予定：吹奏楽団・和太鼓・コーラス・ジャズバンド・カルテットバンド・キッズダンス・軽音楽バンド・ロックバンド・デュオほか</p> <p>前回から工夫ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ過で自粛していましたが、会場参加者と演奏者が一体となって歌を唄う時間を設けます。 会場参加型にダンスタイムを設けます。 <p>上記2項目を実施することにより、会場と演者が一体となって盛り上がるようになります。</p>

実施経過 (A)	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
	6	4	9	第1回定例会	音楽祭について、日程や運営方法等を検討	8	
	6	4	25	案内状発送	出場予定者に開催案内を郵送	3	
	6	5	14	第2階定例会	チラシ等の案を検討	8	
	6	6	5	音響へ資料発送	出場予定者ほぼ固まる	2	
	6	6	11	第3回定例会	出場者と主演時間・リハ調整	8	
	6	7	7	音楽祭事前打合	協賛企業へ啓蒙促進を図る	6	15
	6	7	9	第4回定例会	スタッフ募集開始	8	
	6	8	13	第5回定例会	チラシ・ポスターを配布	8	
	6	8	26	チラシ配布	"	3	
	6	8	27	出場者へ発信	音楽祭最終打ち合わせ	2	
	6	9	10	第6回定例会	協賛団体へチラシ郵送	8	
	6	9	17	チラシ郵送	楽屋及び打上げ用菓子購入	1	
	6	9	23	お菓子等買出し	10組のリハーサルを実施	4	
	6	9	28	リハーサル	机・椅子の設置、音響整備	7	
				会場準備	音楽祭開催	10	
	6	9	29	本番		37	1165

目標の達成状況 (B)	当初 1,500 名の参加を目論んでいましたが、1,165 名の参加者でした。当日はまだ暑く少し影響したのかもしれません、言い訳は出来ません。出場者との打合せを行い会場と演者とが一緒になって歌う」という案は、なかなか難しく受けて頂ける出演者が少なかったので、取り止めました。ダンスタイムは最終出演者の前に設け、会場の椅子を外して行いました。しかし、思ったほどの参加者は無く 40~50 名程度の方々が懐かしい曲に合わせて踊ってくださいました。
事業効果 (C)	1,165 名の参加者でした。目論見からは少ない参加者でしたが、楽しい時間を共有でき、目的の交流を深めるということは出来たと思います。山口ホールの収容人員は 230 名です。音響スペースを除くと 200 名程度になりますが、6 回転弱の入れ替わりの入場者があったという事でした。
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望 (D)	次年度も当音楽祭を継続したいのですが、資金的に大変です。山口町を音楽で活性化しようと始めた音楽祭なので、地元の企業様の協賛を増やしスタッフも増員させて、本年度以上の音楽祭にしたいと願っています。

事業実施状況を示す写真



B-16 第17回 LALALAにしきたミュージシャンコンテスト'2024
／西北活性化協議会

活動地域	1 (西宮) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 :)					
協働団体						
事業の目的・趣旨	音楽による街の活性化及び街の賑わいづくり、音楽の街にしきたのアピール					
事業内容	西宮市を中心に近畿各地より出場者を募り、2回の音源審査をへて、地域2会場で公開予選を実施し、勝ち残った8組のミュージシャンが兵庫県立芸術文化センター阪急中ホールにて開催の決戦大会に出場する。又、グランプリ受賞者の楽曲は「さくらFM」にて1ヶ月間“さくらスーパーソング”として放送する。					
事業経過	年	月	日	場所	実施内容	参加人数
	6	5	1 ↓ 8	アクタ円形デッキ、にしきた公園掲示板、芸文センターポスター、阪急西宮ガーデンズポスター	集活動	4名 スタッフ
	6	9	22	阪急西宮ガーデンズ	公開予選	10名 参加者
	6	9	30	西宮市プレラホール	公開予選	10名
	6	11	1	兵庫県立芸術文化センター	決戦	350名
目標の達成状況	9月22日開催の阪急西宮ガーデンズでは雨天の為ガーデンズホール（室内）での開催になり来場者が減少し兵庫県立芸術文化センターでの開催も雨天の為来場予定数を達成できなかったが個性的な出場者とレベルの高い演奏で来場者の満足度は高かった。					
事業効果	今回も関西を中心に各地より応募がありハイレベルなコンテストが開催できた。又、10代～70代の幅広い年齢層のミュージシャンたちが個性的な演奏を繰り広げ街の活性化と賑わいづくりに貢献できた。					
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	音響、舞台、照明、人件費等が高騰し、兵庫県立芸術文化センター、阪急西宮ガーデンズ、にしきた商店街からの負担金のみでは運営が困難な状況ではあるが、印刷費、謝金、公開予選会場等の見直し、団体からの負担金増額などで18回目以降もコンテストを継続して行きたい。					

【事業実施状況を示す写真等】

第17回 LALALAにしきたミュージシャンコンテスト'2024



B-17 2024みやっこ音楽回廊実施事業／みやっこ音楽回廊

活動地域	1 (西宮) 市																																																										
	2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 :																																																										
協働団体																																																											
事業の目的・趣旨	<ul style="list-style-type: none"> 気軽に参加できる音楽ライブやレコードコンサート等を通じ、世代を超えた地域交流やコミュニティーを元気にする。 「音楽と出会うまち」という西宮市の文化ビジョンを、地域住民や阪神間の人々に向けて発信する 																																																										
事業内容	<p>○アメリカ音楽横丁 (6/29・30) 阪神西宮にあるライブハウスを活用して、2日間で14バンドが出演するイベントを開催。観客と出演者、運営スタッフ含め2日間で約100名が、多彩なアメリカ音楽を楽しむと共に音楽による交流を深めることができた。</p> <p>○うたかたの昭和ベルエポック(9/21、9/28、10/5) 阪急甲陽線開通 100 年を迎えた秋に、『社交と芸術文化が花開いた時代』をテーマに、甲陽園市民館を会場に文化講座とウォークイベントを開催。地域住民を中心とした3日間で 100 名近い方が参加。昭和初期にあった映画撮影所やカフェ、ホテルなどモダニズム文化についての興味深いトークイベントとなった。講座に関連したカルチャー遊歩にも大勢の参加があり、貴重な地域文化を知る機会となった。</p> <p>○うたかたの昭和ベルエポック vol.2 園遊音楽カフェ(11/23) 苦楽園にある昭和初期に建てられた屋敷『飯岩文芸荘』の離れ『遊楓亭』を会場にした音楽カフェを開催。4 組の出演者による音楽ライブや庭での写真撮影、ドリンクの提供を行った。約 60 名がレトロモダンな会場の雰囲気と共に楽しんだ。</p> <p>○レコード喫茶(1/9、2/9) 甲陽園市民館で、コーヒーを飲みながらレコードと一緒に聴くレコード喫茶を開催。地域のレコード愛好家が自分の愛聴盤をエピソードと共に紹介したり、貴重な SP レコードなども披露した。今後も毎月1回(第2日曜)に開催し、音楽愛好家の交流拠点を目指して 継続予定。</p>																																																										
事業経過	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年</th> <th rowspan="2">月</th> <th rowspan="2">日</th> <th rowspan="2">場所</th> <th rowspan="2">実施内容</th> <th colspan="2">参加人数</th> </tr> <tr> <th>スタッフ</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20 24</td> <td>6 30</td> <td>29 30</td> <td>ゴールウェイ ゴールウェイ</td> <td>ジャズ、ブルース、ポップス等アメリカ音楽の生演奏</td> <td>5 5</td> <td>40 45</td> </tr> <tr> <td></td> <td>9</td> <td>21</td> <td>甲陽園市民館</td> <td>地域文化講座</td> <td>5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>28</td> <td></td> <td>甲陽園・夙川</td> <td>カルチャー遊歩</td> <td>4</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10 5</td> <td>21 28</td> <td>甲陽園市民館</td> <td>地域文化講座</td> <td>5</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td></td> <td>11</td> <td>23</td> <td>遊楓亭</td> <td>音楽ライブ、写真撮影、カフェでのドリンク提供等</td> <td>8</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>20 25</td> <td>1 2</td> <td>9 9</td> <td>甲陽園市民館 甲陽園市民館</td> <td>レコード喫茶</td> <td>5 5</td> <td>10 15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>レコード喫茶</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年	月	日	場所	実施内容	参加人数		スタッフ	参加者	20 24	6 30	29 30	ゴールウェイ ゴールウェイ	ジャズ、ブルース、ポップス等アメリカ音楽の生演奏	5 5	40 45		9	21	甲陽園市民館	地域文化講座	5	30		28		甲陽園・夙川	カルチャー遊歩	4	25		10 5	21 28	甲陽園市民館	地域文化講座	5	35		11	23	遊楓亭	音楽ライブ、写真撮影、カフェでのドリンク提供等	8	60	20 25	1 2	9 9	甲陽園市民館 甲陽園市民館	レコード喫茶	5 5	10 15					レコード喫茶		
年	月						日	場所	実施内容	参加人数																																																	
		スタッフ	参加者																																																								
20 24	6 30	29 30	ゴールウェイ ゴールウェイ	ジャズ、ブルース、ポップス等アメリカ音楽の生演奏	5 5	40 45																																																					
	9	21	甲陽園市民館	地域文化講座	5	30																																																					
	28		甲陽園・夙川	カルチャー遊歩	4	25																																																					
	10 5	21 28	甲陽園市民館	地域文化講座	5	35																																																					
	11	23	遊楓亭	音楽ライブ、写真撮影、カフェでのドリンク提供等	8	60																																																					
20 25	1 2	9 9	甲陽園市民館 甲陽園市民館	レコード喫茶	5 5	10 15																																																					
				レコード喫茶																																																							

目標の達成状況	<p>2年目は地域密着型の小規模会場を中心に開催したため、観客動員数は初年度より少なかった反面、参加者と近い距離でコミュニケーションを深めることができ、関係性づくりという点で、ある程度目標は達成できた。運営に関わってくれるスタッフも増えたことや地域のキーパーソンとの繋がりも生まれ、今後に向けての土台づくりの1年になったと思う。</p> <p>世代を超えた交流という点では、大学生や若いファミリー層の参加も一部見られたが、やはり高齢者層が中心で今後の課題といえる。</p>
事業効果	<p>地域やコミュニティを意識したイベントを継続的に実施してきたこともあり、一定の認知がされるようになり、ローカルメディアで取り上げられる機会も増えてきた認知度が上がることで、他団体との連携やコラボという点からもプラス効果が生まれつつあると認識している。</p>
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>1月からスタートした月一回のレコード喫茶のような継続的な取り組みを重視する。市民から引き取り依頼があった5千枚のSPレコードの活用はじめ地域の文化遺産を次世代に継承していく活動（アーカイブ事業）も。運営についても専門スキルを持ったプロボノの巻き込み、CFや自主事業による運営資金の獲得も次年度以降の課題として取り組んでいきたい。</p>

【事業実施状況を示す写真等】



B-18 第15回兵庫県親子ティーボール大会

／NPO法人スポーツ福祉ティーボール

活動地域	1 () 市 ② 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 : 兵庫県全域)					
協働団体	なし					
事業の目的	親子の絆がティーボールの大会を通じて、より一層深まるよう、また心身の健康とより良いコミュニケーションを図ることを目的とする					
事業内容	1 西宮市春風グランドで親子ティーボール大会の予選を実施 2 8月31日に西宮市浜甲子園運動公園に於いて第15回兵庫県親子ティーボール大会を開催する予定であったが、台風が接近する見込みとなったので中止延期し、9月7日西宮市春風グランドに変更して開催した。					
実施経過 (A)	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数
	6	7		春風グランド	第26回西宮市親子ティーボール大会に協力	スタッフ 15 参加者 200
	6	7	29	東事務所	運営会議	8 8
目標の 達成状況 (B)	6	9	7	春風グランド	第15回兵庫県親子ティーボール大会開催	50 400
	台風の為、当初8月31日予定していた日に開催できませんでしたが、1週間後9月7日に親子400名以上の参加により開催することができました。					
	開催当日、小学4年生以下の子供と母親が大会に参加し、父親は裏方や応援にまわり盛大におこなわれました。 天気もよく、選手、スタッフ等、大汗をかきながら大会を盛り上げることができました。 また、他チームとの交流にもつながり、和気あいあいとおこなわれ、父兄の繋がりもできたと思います。 青少年の育成並びに親子の絆がこの大会を通じてより一層深まったと痛感しております。					
事業効果 (C)						

補助金交付 終了後の事業展開、 今後の展望 (D)	毎年試行錯誤を繰り返しながら、ティーボール大会を開催して大会のみならず、親子の絆を繋げることを理念に行ってきました。親子で開催される事業が皆無のため、このような事業は大切だと考えております。今後、この事業が兵庫県のみならず、全国的に発展していくことを願っています。
------------------------------------	--

事業実施状況を示す写真



B-19 深津町自治会の活性化に向けたプロジェクト／深津推進委員会

活動地域	1 (西宮) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 :)
協働団体	
事業の目的・趣旨	子育て家庭のライフスタイルの多様化、価値観の変化に伴い、自治会に対する関心度も低く、現在、旧態依然とした自治会のあり方の存在意義が問われている。子育て家族が参加して楽しめるニーズに応じたイベントを企画する必要がある。また、住民の直接の声を自治会活動に反映するために、令和6年度からピアッザの西宮エリアに「深津町自治会」のグループを登録し、双方向のコミュニケーションに役立てるため、ライフスタイル及び価値観の同じ住民の小規模な趣味のグループの集まりのイベントを推し進める事により、自治会への関心・必要性を高めて行きたいと考えている。
事業内容	子育てを地域みんなで楽しむプロジェクト ママパパ、子ども、高齢者に対しての、それぞれの料理の作り方教育セミナーを開催 深津町には住んではいないが、近くに住む子どもや孫の参加を促し、三世代交代のイベントを開催

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	6	6	12	深津会館	プロジェクトに関する企画会議	10	
	6	8	17	深津会館	子ども簡単クッキング (会員のみ広報 300 世帯)	5	12
	6	10	29	深津会館	ゆる気功体操 (会員のみ広報 300 世帯)	4	14
	6	12	8	深津会館 及び 児童公園	餅つき大会 (未加入の住民含めて広報 600 世帯) 三世代交流イベント 杵つきの餅つきをパパ体験 餅まるめるママ体験 子どもの餅つき体験	18	108
	6	12	16	深津会館	居場所づくり (未加入住民含めて広報 600 世帯) k	5	8
	6	12	22	深津会館	クリスマス大会 幼児・子どもと保護者 (会員のみ広報 300 世帯)	10	42
目標の達成状況	6月のスタッフの企画会議でまとめた課題の検討及びイベントの実施はほぼ達成できた						
事業効果	このプロジェクトは、深津町自治会の役員の高齢化が進み、新しい役員の成り手がないという差し迫った状況を開拓するために立ちあげた 現在の役員は70代80代で、17年もの間、新しい役員の参加は1名のみ 今回、このプロジェクトでいろいろ新しい取り組みをした結果、来期は新しい役員が6名参加することになった30代40代50代の男性4名、女性2名加の参加はこのプロジェクトの効果だと思う						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	4月20日の総会で、新しい役員が6名も増えることに満足することなく、引き続きこのプロジェクトは進めていく 今回のプロジェクトの企画内容を反省を含めて見直し、検討して次につなげる						

【事業実施状況を示す写真等】

子ども簡単クッキング

親子でクッキング

お父さんも参加して説明を真剣に

聞いています。



指導員の男性も先生たちに交じり

大奮闘です。



B-20 兵庫・西宮の魅力発見！文化でつながる地域交流事業

／働くママの朝活会 in 西宮

活動地域	1 (西宮) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 :)
協働団体	なし
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 文化的時間を提供することで精神的余裕を生み出し、メンタル不調を予防する。 知られていない「地域の魅力ある場所」を訪れる機会を創出する。 地域の人の交流促進により繋がりができ、安心感と地域への愛着を生み出す。 芸術文化に気軽に触れる機会を提供する。
	<p>西宮市近郊の名所にて、手帳やノートを活用して行うワークショップを開催した。各会場に合わせた芸術文化（音楽、茶道など）の体験も組み合わせた。</p> <p>① 6月30日 「リトルカフェで手帳タイム×オペラ×茶道」イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者数：10人（内訳：大人9人、子ども1人） 開催場所：西宮北口「リトルカフェ」 レポート：https://ameblo.jp/happyworkmama/entry-12858554891.html <p>兵庫県立芸術文化センター（以下、芸文）で毎年夏に開催されているオペラについて紹介、手帳ワークショップ、抹茶を点てる茶道体験、参加者交流を実施した。西宮の老舗「あおやま菓匠」さんにオペラ「蝶々夫人」をイメージした和菓子作って頂き、大変好評だった。「芸文は近いけれど、行ったことがなかった」、「オペラは行ったことがなかったが、ぜひ行ってみたい」という感想も寄せられた。</p> <p>② 10月14日 「ハッセルハウス de 音楽&手帳タイム」イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者数：14人（内訳：大人14人） 開催場所：喫茶「ハッセルハウス」 レポート：https://ameblo.jp/happyworkmama/entry-12871262942.html <p>仁川にあるアンティーク喫茶「ハッセルハウス」にて、ぴあの弾きゆみこ（石田佑美子）さんによるピアノ演奏、手帳ワークショップ、参加者交流を実施した。映画「にしきたショパン」プロデューサーで、ハッセルハウスオーナー兼オペラ歌手でもある近藤 修平 さんも生歌を披露下さり、芸術的な午後のひとときとなつた。芸術や手帳が好きな方が集まり、初対面にも関わらず、非常に盛り上がつていたのが印象的だった。</p> <p>③ 12月8日 「西宮神社 六英堂 de 篠笛&茶道&手帳タイム」イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者数：16人（内訳：大人16人） 開催場所：西宮神社「六英堂」 レポート：https://ameblo.jp/happyworkmama/entry-12886942286.html <p>「なづさね」倉内麻由子さん＆倉内大輝さんによる篠笛演奏、茶道家「和文化の玉手箱」主宰 福崎希美さんによる茶道体験、手帳ワークショップ、参加者交流を実施した。明治維新の6人の英雄が作戦会議をした歴史ある建物での開催で、参加者の皆様から貴重な体験になったと喜んでいただけた。</p> <p>④ 2月2日 「育休復帰応援セミナー&ピアノ演奏」</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者数：合計45人（内訳：大人30人（うち夫婦8組）、子ども15人）

<ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：西宮市男女共同参画センター 411学習室 ・レポート：https://ameblo.jp/happyworkmama/entry-12885086267.html <p>育休後アドバイザーからの講義、先輩ママの経験談、参加者同士の座談会、ぴあの弾きゆみこ（石田佑美子）さんによるピアノ演奏を実施した。以前に比べ、父親の参加率も高く、男女共に子育てをしようという社会の変化を感じた。また、にしのみや若者応援 BANK を通じて、大学生ボランティアとして男子学生さんが参加下さった。生演奏を聞く機会が少ない子育て真っ最中の家庭の皆様に、ピアノ演奏をとても喜んでいただけた。</p>
--

実施経過 (A)	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
						スタッツ	参加者
	R6	6	30	リトルハウス	リトルカフェで手帳タイム×オペラ×茶道 イベント	2	8
	R6	10	14	ハッセルハウス	ハッセルハウス de 音楽&手帳タイム イベント	4	10
	R6	12	8	西宮神社 六英堂	西宮神社 六英堂 de 篠笛&茶道 &手帳タイム イベント	4	12
	R7	2	2	西宮市男女共同参画センター	育休復帰応援セミナー&ピアノ演奏	6	39
目標の達成状況 (B)	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSへの投稿 ハッシュタグ「#兵庫西宮の魅力発見」30件 →ハッシュタグの投稿数は達成できなかったが、参加者それぞれのSNSで報告を投稿いただけた。 ・当初の目標には入っていなかったが、西宮市100周年プレ事業（冠付事業）として、12月8日西宮神社六英堂イベント、2月2日の育休復帰応援セミナーを認定いただいた。そのため、西宮市公式インスタグラムやホームページで事業を紹介いただけ、広く周知することができた。 						
事業効果 (C)	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者層について：いつも主催している「働くママの朝活会」から枠を広げたことで、男性にもご参加頂き、文化を通じてさらに西宮の輪が広がった。 ・文化芸術・子育てなど、それぞれの感心あるテーマでイベント企画したことで、地域社会の人の交流促進ができた。 ・西宮市での地域情報、文化芸術情報、子育てに関するリアルな声を情報交換することができた。 ・手帳ワークショップを通じて、時間や心の余裕を生み出すヒントを共有できた。 ・知られていない「地域の魅力ある場所」を実際に訪れる機会を創出したことで、さらなる地域への愛着が生まれたと感じた。 						

補助金交付
終了後の事
業展開、
今後の展望
(D)

文化芸術を軸に地域のゆるやかな繋がりを生み出すことができる事業であると強く感じたので、ぜひ今後も継続していきたい。日々忙しく働く世代（特に子育て中）は、地域の活動に携わる機会が少ないが、好きなこと（文化芸術・手帳・茶道など）に関する企画は魅力に感じ、参加してみたいと思って下さることが分かった。地域の魅力ある場所、人、情報を繋ぐ機会を今後もプロデュースしていきたい。

事業実施状況を示す写真



B-21 サマーフェスティバル in 越木岩～THE FIRST SUMMER～／越木岩青年会

活動地域	1 (西宮) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 :)
協働団体	
事業の目的	<p>地域の夏祭りが新型コロナウイルス感染症を機に 4 年間中止となり、子どもたちと地域社会の交流や発表の機会が失われている状況におかれています。</p> <p>現状を開拓すべく、事業を発足すると下記 2 点の課題が生じます。</p> <p>① 実施協力体制の整備 ②主催団体に依拠しない資金調達</p> <p>これらの課題を解決に導くために下記の施策を実施し、地域コミュニティの活性化を図りたいと考えております。</p> <p>① 協力体制の整備→各団体長連絡会議を発足 地域団体で構成する新たな協議会を発足し、主催団体の私たちだけではなく、地域の各種団体を巻き込んだ実施体制を整備します。</p> <p>② 資金調達→企業協賛を実施 主催団体の予算だけに依拠しない、各団体からの協力金や地域企業、店舗からの協賛金による資金調達を実施します。</p>
事業内容	<p>「対象者」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域および周辺地域の皆様（メインターゲット：地域の子どもたち） <p>「実施方法」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北夙川小学校にて、広域地域型の夏祭りを開催 <p>「周知方法」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域へのチラシポスティング（2 万部） ・自治会掲示板、電柱、地域施設等へのポスター掲示 ・協賛企業、店舗内でのポスターの設置 ・各種地域内の学校（幼稚園・保育園・小学校・中学校・高校）への告知、ステージ演出への参加依頼 ・地域各種会議や地域各種団体での周知依頼 ・SNS アカウントでの告知 <p>「取組み」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・越木岩地域伝統文化の盆踊りの実施 ・地域各団体によるブースの出店、地域団体の展示 ・各種学校や団体によるステージ発表

	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
実施経過 (A)	6	4	17	越木岩会館 青年会事務局	実行委員会※会内の協議会	12	15
	6	4	25	越木岩会館	各団体長連絡会議① ※地域団体の皆様との協議会	11	23
	6	5	21	越木岩会館 青年会事務局	実行委員会※会内の協議会	18	
	6	6	6	越木岩会館 青年会事務局	各団体長連絡会議② ※地域団体の皆様との協議会	11	21
	6	7	4	越木岩会館 青年会事務局	実行委員会※会内の協議会	19	
	6	7	25	越木岩会館 青年会事務局	最終シュミレーション ※会内の当日の最終確認を踏 まえた協議会	38	
	6	7	27	北夙川小学校	会場設営作業※青年会のみ	35	
	6	7	28	北夙川小学校	会場設営作業※地域団体の皆 様にも参加していただき、会 場設営	41	57
	6	8	2	北夙川小学校	第50回サマーフェスティバル・イン越木岩 開催	53	
	6	8	3			57	
	6	8	4			67	
	6	8	5	北夙川小学校	片づけ作業※青年会のみ	15	
	6	8	11	北夙川小学校	片づけ作業 ※地域団体の皆様にもご参加 いただき、作業実施	37	
				北夙川小学校 会議室	各団体長連絡会議③ ※地域団体の皆様との協議会	12	23
	6	9	15	越木岩会館 青年会事務局	実行委員会、開催報告会※会 内で共有事項や引き継ぎ事項 などを協議	23	
目標の 達成状況 (B)	・協賛企業目標50社 → 111社 地域の皆様と一緒に本事業を作り上げるべく、地域内で事業をされている企業様からの協賛による資金調達を実施しました。50社を目標に会員自ら足を使って各企業様へ協力依頼を行った結果、111社からのご協賛をいただきました。 各企業様からは激励のお言葉や開催報告時には「盛況だった」「この地域に活気が戻ってきてうれしい」などのご意見も聞かせていただきました。						

事業効果 (C)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域教育の輪を育成 <p>地域の各種学校の子どもたちに、発表の場を提供します。学内で終わってしまうことが多い発表会ですが、地域主催のイベントでは、老若男女を問わず地域住民向けに発表する機会が得られます。このような機会は、地域と子供たちをつなぐうえで極めて重要であり、本事業において大きな事業効果であると考え、子どもたちにステージ演出で発表してもらい、それを誰もが観覧できる場を提供しました。結果、普段とは違う場で発表ができた子どもたちからは「楽しかった」「緊張したけど、練習の成果がすべて出せた」という意見やご年配の方からは「普段、子どもと交流する機会がないので子どもたちから元気をもらえた」というお話を伺うことができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの活性化 <p>多くの地域団体や各種学校の子どもたちを巻き込んだ事業であり、地域内の横のつながりが強化されます。普段は接することのない団体や、地域で活動している団体の相互コミュニケーションの促進を図り、地域コミュニティのさらなる活性化に寄与したいと考え、開催日より数か月前から各団体長様にお集まりいただき、私たちの思いをお伝えしました。その結果、各団体様からご賛同いただき、多大なるご協力をいただきました。また、各種学校の子どもたちにも協力していただき、越木岩青年会だけでなく、地域一丸となってサマーフェスティバル・イン越木岩を作り上げることができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の伝統文化の継承 <p>本事業では、盆踊りをはじめとする地域の伝統文化に触れる機会を提供します。地域の子どもたちはもちろん、新たに移り住まれた方々にも、地域の魅力や歴史を知ってもらうことができ、郷土愛の醸成に寄与したいと考え、地域の子ども会へは盆踊りの太鼓を叩いていただいたり、どなたでも参加可能な盆踊り練習を開催し、気軽に参加できる工夫を凝らしました。当日、盆踊りへの参加を呼びかけることで多くの方にご参加いただき、大きな輪を作ることができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域経済の活性化 <p>事業実施期間は、多くの人で地域がにぎわいます。協賛企業や店舗等をイベントで紹介することで、認知度の向上に貢献します。本事業を通じた地域の経済活性化に寄与したいと考えました。</p> <p>サマーフェスティバル・イン越木岩は3日間を通じ約20,000の方にご来場いただきました。この地域にこれだけ多くの方にお集まりいただけたことは地域経済の活性化にも繋がったと思います。</p>
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望 (D)	<p>今年度、5年ぶりの開催となった本事業は私たちだけで成し得ることは困難でしたが、地域の各団体様や企業様、関係各所の多大なるご協力をいただき、盛況のうちに終了いたしました。改めて、地域の皆様との繋がりや力強さを感じております。</p> <p>そのような地域の中で活動できることを誇りに思い、越木岩青年会の強みでもある「若い世代」が地域活性化の中心に立ち主導していくことで、この地域の活性化に貢献していきたいと考えております。</p> <p>サマーフェスティバル・イン越木岩の開催にあたって、様々な激励やお褒めの言葉、感謝の言葉を頂戴しております。地域に携わる皆様とともに創り上げていく地域コミュニティの場はこの地域の資産です。今後もこれから世代を担う子どもたちに学内だけではなく、地域全体で地域教育の場を増やしていくことで地域コミュニティの活性化につなげていきたいと思います。</p> <p>そのためには今後も越木岩青年会がサマーフェスティバル・イン越木岩の開催など地域交流の場を展開し、地域コミュニティの形成、発展へ寄与してまいります。</p>

事業実施状況を示す写真、チラシ等



B-22 つくるとたべると遊ぶ つながろうフェス vol.2／みやぱく

活動地域	1 (西宮) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 :
協働団体	なし
事業の目的・趣旨	国がみどりの食料システム戦略を掲げ、各地域では具体的な対策が検討されています。その中で有機栽培の面積拡大等具体的な対策に向けて一人一人が意識を高めていく必要（生産者も消費者も）があると感じます。兵庫県は北部に行けば農村部があり化成肥料や農薬に頼らない方法で食材を生産されている農家さんが多数いらっしゃいます。また今後国の政策（耕地面積に占める有機農業の取組面積を 25%、100 万 ha に拡大）を実行するため有機農家さんが増えていくことも予想されます。一方で都市部には安心な食材を求める人が増加しています。都市部に住まう方が農家さんを「知る・繋がる」きっかけをつくることで、食を通じて人の繋がりが形成されていくと考えます。昨年イベントを実施させて頂きマルシェで購入された方がその後継続的なお客様になられたというお話もありました。「都市部における購入窓口の不足」と「農村部における販売チャンネルの不足」という 2 つの課題を同時に解決する為のリアルなイベントが必要だと実感しております。単なるマルシェではなく「食と農」に興味が無かった人にも気づきが生まれるように、世代を超えた様々なカルチャーが交わる場づくりを意識してフェスの開催を考えています。
事業内容	(対象者、実施方法、周知方法等、取組みの具体的な内容をご記入ください。) 対象者：・都市部（阪神間エリア）に暮らす安心食材を求める人+食への関心が今のところ薄い方 ・都市部の保育園や学校・高齢者施設など食を提供する施設や組織に関連する方 ・給食の食材に興味がある方 ・農業の高齢化・耕作放棄地の課題に興味のある方 ・農村部（兵庫県下）で有機や自然栽培を手掛ける小規模農家さん 実施方法：西宮エリア（候補：西宮浜総合公園）での食と農をテーマとしたフェスティバル（マルシェ+エンタメ+スポーツイベント+食や農をテーマとした座談会）の開催 イベントでは「食」を通して多世代が交流する活気あるコミュニティづくりを目指したいと考えています。お野菜やお米の販売や食べ比べ、食を取り巻く情報発信、多世代が交流できる参加型ワークショップ等の実施。また食に関心が薄い方にも気づいてもらえるイベントとなるように、音楽やダンスステージ、参加型で楽しめるヨガ体験・モルック体験・お子様は走り方教室等異なる文化を取り入れ、多世代が 1 日楽しめるイベントの実施を想定しています。

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	R6	5	28	公民会会議室	開催日の決定	5	0
	R6	5	30	浜総合公園	開催予定場所視察	1	0
	R6	6	25	オンライン	イベント内容打合せ	4	0
	R6	7	3	オンライン	ステージ内容打合せ	3	0
	R6	7	23	つどい場	モリモンカード WS 詳細打合せ	5	0
	R6	7	30	オンライン	モルック体験会打合せ	1	1
	R6	8	1	浜総合公園	現地会場詳細打合せ	2	2
	R6	8	6	カフェ	モリモンカード詳細打合せ	1	1
	R6	8	8	カフェ	モリモンカード申込打合せ	1	1
	R6	8	14	浜総合公園	現地詳細打合せ	1	2
	R6	8	27	公民館会議室	出演者検討位置合わせ	4	0
	R6	8	31	オンライン	HP 作成打合せ	1	1
	R6	9	3	オンライン	ラジオ体操 instructor 打合せ	1	1
	R6	9	13	オンライン	チラシ打合せ	1	1
	R6	9	24	公民館会議室	出演者・出店者詳細打合せ	1	1
	R6	10	10	市役所	保育園配布チラシなど持込	3	0
	R6	10	22	議員会館	当日の人員配置等打合せ	1	0
	R6	11	26	西宮浜総合公園	GPS ラン 打合せ	5	0
	R6	11	13	西宮消防署	消防届出	1	1
	R6	11	20	浜総合公園	当日の動線確認・出店者位置	1	0
	R6	12	23	浜総合公園	フェス開催	2	0
	R7	1	26	浜総合公園	フェス当日の反省会	20	300
			8	オンライン	来年に向けて	1	2
						3	0
目標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> チラシ発行予定数：8000 部、済み (チラシ配布先：公民館、小学校、中学校、保育園、幼稚園、などを予定) ハッシュタグインスタ投稿 100 は未達成。オンラインではなくリアルな広告に切り替えたため、英張りポスター・チラシ配布等を実施 						
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> モリモンカードワークショップを同時開催したことで小学生の参加者がさくねんより増えたことが良かったと思う。 みやたんの出演により和太鼓体験会等で子供たちが元気よく参加してくれたことも良かったと思う。 出店者さんどうしのつながりが生まれるなど横のつながりが広がった ヨガやズンバ等新しい体験コンテンツをコラボすることで新しい参加者が増えてよかったです。 海辺で風が強く寒さが厳しかったため開催時期を検討する必要は感じた 						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>今回は、小学生とそのご家族の参加を促すためにモリモンカードワークショップをイベントに組み込みチラシも 8000 部強小学校に配布した。その効果もあって小学生の参加者は増加。ただ、予算も手配するコンテンツのボリュームも上がりスタッフの負担が増えた印象だった。</p> <p>人の手配・予算含め市民団体で対応できるイベントのボリュームがある程度見えてきたように感じる。今後は予算とスタッフの負担も含めイベントの内容を再度精査していきたい。食と農の大切さに気付いてもらうために日頃から活動を知ってもらう努力をしながら年に 1 回のビッグイベントに向けて発信や交流を高めていこうと思う。</p> <p>また、実際にお野菜や体に優しい食べ物の美味しさを感じてもらう工夫・収穫体験会等の実施も含め年間を通して私たちの活動のファンを増やしていきたいと思う。</p> <p>当日のブースでは楽しめるお野菜クイズや食の安心安全を伝えるブースなども検討していきたいと感じた。</p>						

音楽等のステージコンテンツは2年続けて行ってみて、出店者も参加者も楽しんでもらえる内容だと自信が持てたため今後も継続していきたいと思う。

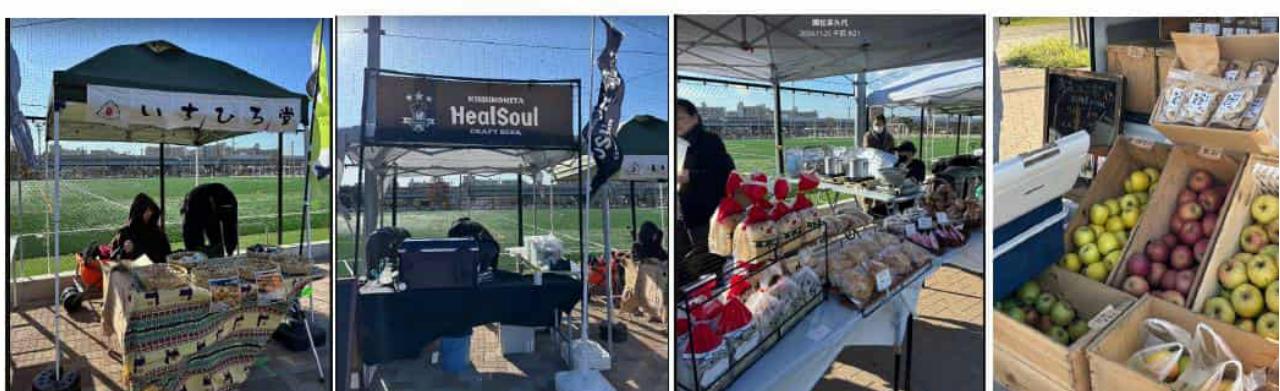
次年度以降は協力頂ける企業様を募っていけるよう努力していこうと思う。

【事業実施状況を示す写真等】

ステージの様子



マーケット風景



芝生広場のヨガ＆モルック体験
ラジオ体操instructorと体操
和太鼓体験会＆みやたん



モリモンカードづくり
GPSランナー志水さん講演



B-23 地域高齢者のいきがいと多世代交流の活性化事業／なないろの会

活動地域	1 (西宮) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域（対象市町： ）						
協働団体							
事業の目的・趣旨	高齢化率の高い当地区は、坂道の多い地区でもあり外出は買い物と通院のみと化している。地区内でのイベント開催は高齢者の唯一の楽しみになる。 また、PTAなどにも声がけし、補助的参加を受ける。						
事業内容	<p>● 10月20日（日）なないろフェスティバル開催 ・グラウンドゴルフ体験会（新池北公園にて） ファミリーでの参加や小学生の参加を募ったが若い方々の参加は少なかったが、ゲームをされた方々は喜んでいた（社協主催のグラウンドゴルフ大会が11月に開催され、体験会に来てくれた人達がファミリーやお友達（小学生）同志で参加していたのが嬉しかった。</p> <p>・フリーマーケット（市住広場にて） 参加店舗が少なかったが、手作り作品が多く好評でした。新鮮野菜は、地元農家さんから小松菜やきゅうりを販売してくれ短時間で完売。</p> <p>● 1月19日（日）なないろ新春演芸会（市住集会所にて） ・毎年新春寄席を楽しみに「1年間待ってました～」とあいさつで入場される高齢者が多かった。</p> <p>大盛況でした。大爆笑でした。「こんなに笑ったのは久しぶり！」のお客様が多くてやってよかった！とスタッフ全員の顔も喜んでいた。ありがとうございました。</p>						
事業経過	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	R6	7	14	マイマート	第1回運営委員会	13	
		9	5	七団集会所	第2回 "	7	
		9	15	マイマート	第3回 "	13	
		10	3	七団集会所	第4回 "	6	
		10	13	マイマート	第5回 "	11	
		10	19	七団集会所	フェスティバル準備	12	
		10	20	七団集会所	フェスティバル開催日	12	約80
		11	7	マイマート	第6回運営委員会	7	
		12	5	マイマート	第7回 " 新春演芸会の件	6	
		R7	1	12	マイマート	第8回 "	9
目標の達成状況		1	18	七団集会所	演芸会準備	10	
		1	19	七団集会所	演芸会開催日	12	64

事業効果	フェスティバル 地域の諸団体にも声かけやゴルフ指導をお願いし、参加者はすごく楽しんでくれました。フリーマーケットは開催時間中ずっとブラブラしている人もいて楽しんでくれたようす。業者の方からスニーカーを50足×300ご提供もあった。少しずつ広まってきているのがわかった。
補助金交付 終了後の事業展開、今後の展望	秋のフェスティバルでは、体験会でなく、大会をするほうが参加者が増えそうなので企画してみたいです。 新春芸会は上ヶ原の恒例になりつつあります。 次回も楽しい人達を探していきます。団地近辺の人の喜ぶ顔が続きますように頑張ります。

【事業実施状況を示す写真等】

なないろフェスティバル(令和6年10月20日)



新春芸会(令和7年1月19日)



B-24 段上地区夏祭り／段上地区夏まつり実行委員会

活動地域	1 (西宮) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 :)
協働団体	段上地区青少年愛護協議会・スポーツクラブ21段上・段上小学校PTA
事業の目的	多世代交流のふれあいの場、子供たちの心のふるさとづくりの場となるよう、コミュニティづくりを通して、地域の活性化を図り、子供たちの健全育成に努める。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 8月17日（土）・18日（日） 18:00～20:30 ・場所 西宮市立段上小学校 校庭 ・対象 地域住民 ・周知方法 ポスター掲示、チラシ配布、地域団体や自治会への声かけ ・内容 <ul style="list-style-type: none"> 《17日》 「たそがれコンサート」 <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県立西宮高等学校 邦楽部 県西太鼓「爛漫」 ・兵庫県立西宮高等学校 吹奏楽部 《18日》 <ul style="list-style-type: none"> ・甲武中学校有志 「よさこいソーラン」 ・NDS ジャンパーズ 「ロープジャンプ」 ・西宮市立西宮高等学校 ダンス部 ・盆踊り <p>スポーツクラブ21の児童の子ども太鼓に合わせ、民謡グループや市立西宮高校ダンス部も参加し、来場者と共に日本の伝統文化である盆踊りを楽しんだ</p> ・西宮市マスコット みやたん出演 ・花火（葛城煙火（株）） 《17日・18日》 <ul style="list-style-type: none"> ・模擬店 <p>ゲームや軽食の販売など地域団体や自治会、ボイスカウト、高校、作業所による模擬店</p> <p>設営・撤収・各模擬店には、中高生ボランティア、保護者ボランティア、地域ボランティアに協力を依頼。地区の防犯協会、小学校・中学校の地区愛護委員が場内パトロールにあたり、地域ボランティアが門番にあたった。</p> <p>※参考 「西宮つーしん」に紹介されました https://nishi2.jp/270157/</p>

	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
実施経過 (A)		6	4	段上公民館	第1回実行委員会	14	60
		6	下旬	関西学院大学 西宮市立西宮高校 県立西宮高校	ボランティア依頼・打ち合わせ 出演依頼	2	4
		6	22	段上小学校	やぐら組み立て（予行）	8	
		7	2	段上公民館	第2回実行委員会	14	60
		7	27	段上小学校 PTA室	運営会議	10	
		7	30	段上小学校 家庭科室	第3回実行委員会	15	80
		8	2	地域交流室	プログラム印刷（庶務）	3	
		8	10	地域交流室	中学生ボランティア 近隣お手紙配布、	4	9
		8	16	地域交流室	前日準備	15	
		8	17	段上小学校校庭	夏まつり 1日目	350	2,430
		8	18	段上小学校校庭	夏まつり 2日目	330	2,978
		8	19	段上小学校校庭 地域交流室	撤収、片付け	13	58
		8	21	地域交流室	お礼状作成	5	
		9	2	地域交流室	会計監査	5	
		9	4	段上公民館	第4回実行委員会	14	60
		9	18	地域交流室	運営会議	8	
目標の 達成状況 (B)		<ul style="list-style-type: none"> ・来場者 17日：2430名、18日：2978名 ・ステージ発表 5組 156名 ・学生ボランティア 283名 ・地域ボランティア 237名 					
		当初出演予定だった甲武中学校吹奏楽部は、学校閉鎖の都合で出演できなくなつた。					

事業効果 (C)	<ul style="list-style-type: none"> ・5年ぶりの開催となったが、盛大に開催することができ、地域住民が待ち望んでいたことを実感することができた。 ・生徒・児童たちにとってコンサートやステージ発表の場を設け、日ごろの活動の発表に場として出演することで、来場者からの声援を受け、充足感が得られ、自己肯定感の向上につながった。 ・中高生がボランティアに参加することで、多世代交流が育まれ、地域の活性化につながる。又、生徒たちにとって、社会貢献や地域活動に興味をもってもらえる機会となった。 ・5年ぶりの開催となり、初めて来場する方も多くみられた。地域を知ってもらういい機会となり、模擬店出店やボランティア活動を通じて、日ごろ希薄になっている自治会や近隣とのつながりをもってもらうことができた。
補助金交付 終了後の事 業展開、 今後の展望 (D)	<p>この「段上地区夏まつり」が、地域の活性化、地域力向上において、重要なポジションであることを実感した。50年来続けられているこの事業を次年度以降も開催していく。近年の物価の高騰により、資金面、事業内容において、見直す必要があると考える。設営・撤収において、高校生ボランティアの力を借りることができ、随分助かった、次年度以降も、学生ボランティアを募り、若い世代の活躍の場となるよう計画したい。</p> <p>今後も実行委員会形式でこの「段上地区夏まつり」を開催し、より段上地区的活性化を図れるよう努めたい。</p>

事業実施状況を示す写真



B-25 段西夏まつり／段上西県民交流ひろば運営委員会

活動地域	1 (西宮) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 :)
協働団体	
事業の目的	子育て中の世帯を含む地域住民（多世代）が、祭り運営や模擬店出店などを通じてボランティア活動に関わり顔見知りとなるコミュニティを作る。また、学生ボランティアの力を借りながら、子供中心の「ふるさと段西」をコンセプトに、多世代交流・地域活性化を図る事業。
事業内容	<p>模擬店 子供向けを中心に、かき氷・スマートボール・ボウリングゲームなど飲食店舗も含む模擬店舗 17 店（14 団体）が出店。 近隣中学校や高校へ呼びかけ学生ボランティアを募集し、模擬店スタッフとして活動。また、地域の協力者にもスタッフとして一緒に活動。 地域の消防分団による消防自動車の乗車体験も好評だった。</p> <p>イベント 小学生有志チームの和太鼓でオープニング。2 校の高校生ダンスチーム（部活動）、地域で活躍中のダンスチームがステージを盛り上げた。</p> <p>安全見守り 地域防犯団体が中心に、開催前から終了後の会場入り口の警らや開催中の会場内安全見守り活動を実施。同時に近隣施設前での見守り活動も実施。 安全見守りボランティアとして地域防犯団体のほかに、自治会役員有志や SC21 会員など多くの協力者が活動。</p> <p>エコ活動 開催中に会場内でゴミステーションを設置。ゴミの回収・ゴミ分別の啓発・会場内の美化清掃活動。 青愛協が中心に、学生ボランティアや自治会役員有志が活動。</p> <p>広報活動 開催告知チラシは、13 自治会・小学生を通して配布。また、寄付協力事業者へも配布。 開催 2 ~ 3 日前に、会場の段上西小学校近隣へご挨拶文を配布。</p>

	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
実施経過	2024	2	17	段上西県民交流ひろば会館	第一回段西夏まつり実行委員会	10	
	2024	3	16	段上西県民交流ひろば会館	第二回段西夏まつり実行委員会	8	
	2024	3	23	地域交流室 SC21 段上西 段上公民館	○備品チェック作業	3	24
	2024	5	25	段上西県民交流ひろば会館	第三回段西夏まつり実行委員会 ○模擬店・イベント申し込み ○チラシ作成準備（寄付活動ほか） ○各ボランティア募集	21	
	2024	6	22	段上公民館	第四回段西夏まつり実行委員会 ○各担当の進捗報告 ○購入備品含む予算相談 ○チラシ配布準備		
	2024	7	13	段上公民会	第五回段西夏まつり実行委員会 ○各担当の最終確認 ○会場設営・見守りの人材配置など確認 ○開催時におけるスタッフ同士の共通理解事項の確認 ○安全・暑さ対策について。	30	
	2024	7	20	段上西小学校 校庭	○校庭の草刈り	3	
	2024	7	27	段上西小学校 校庭	段西夏まつり 準備・開催	90	380
	2024	7	28	段上西小学校 校庭	段西夏まつり 片付け	70	
	2024	8	3	段上センター	第六回段西夏まつり実行委員会 ○活動・会計報告 ○振り返り ○次年度に向けて	30	
目標の達成状況	2024	8	7	地域交流室 SC21 段上西	○備品チェック ○引継ぎ作業	4	
	2024	8	31		○報告書作成		

数値目標として

開催告知チラシ…5,000 部配布

（13自治会・段上西小学校児童・寄付金事業所案内・来賓案内・近隣施設ほか）

開催会場（段上西小学校）近隣への挨拶文…300通配布

（近隣住民及び施設他）

*チラシの残りは、開催当日に受付にて希望者へ配布、また次年度への引継ぎ資料

事業効果	今年多くの地域の子供たちや、親子の来場者が中心だった。諸団体の模擬店や、イベント会場では小中高校生のパフォーマンスがあり、それぞれの活躍の場となった。特に、地域の幅広い年層の方々が色々な場面でボランティア活動に協力いただき、顔見知りになるコミュニティも見受けられ一定の効果を感じた。一方、子供中心の「ふるさと段西」として段西小卒業生を含む、地域の中高生ボランティアが例年より少なく、課題が残った。次年度は募集の仕方や声掛けの工夫が必要だ。
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	ボランティア募集や担い手不足など課題は山積だが、本年度より次年度と備品や広報活動を充実させるために、補助金は必須である。ボランティア募集の仕方や声掛けの工夫が必要であり、また地域活性化の課題にも向き合いたい。地域のお祭りとして「ふるさと段西」の精神を大切にしつつ、安心安全な祭り運営を継承したい。

事業実施状況を示す写真



B-26 大学ゼミと連携した「おろいちマルシェ」活性化事業／「おろいちマルシェ」実行委員会

活動地域	① (西宮) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 :)
協働団体	関西学院大学社会学部大岡ゼミ hi totoki
事業の目的・趣旨	関西学院大学社会学部大岡ゼミと協働してマルシェの運営体制を強化する。また大学生のアイデアと行動力、そしてネットワークにより、マルシェの認知度向上を目指す。特にインスタグラムなど SNS を通じた情報発信力により、子育て世帯への認知度向上を狙った。また大学生の参画を呼び水に、今後も継続的にマルシェの運営に関わる若い世代を地域から発掘することを目的とした。
事業内容	<p>1. 魅力の発信と認知度の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SNS でアカウント (@oroi chi_marche9) を運用し、学生目線で見たマルシェの魅力や紹介を発信した（7月マルシェ、9月マルシェ、10月マルシェ） ・ インスタグラムを通じ、9月、10月のマルシェで実施した「ゆるキャラ総選挙」の募集、受賞作品の公表などを行った。インスタフォロワー数：336 ・ おろいちマルシェ写真小冊子の編集・製本・配布。おろいち通信として、大岡ゼミと協働して、旧卸売市場から再整備された後の西宮地方卸売市場で実施したおろいちマルシェでの活動を記録した報告用小冊子を 500 部作成した。 <p>2. マルシェでのイベント実施</p> <p>子育て世代の来場客が多いマルシェで、家族で楽しんでもらうと同時に、旧卸売市場の解体材を活用し、歴史とつながりを感じてもらうイベントを実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 年輪アートワークショップと遊び場の実施（7/14、10/13）。 2) 「おろいちマルシェでつながろう」解体材を活用したコミュニティボードの設置（7/14、9/8、10/13）：「西宮市のおすすめのお店」や「西宮の好きな所」など、西宮に関するテーマを掲げ、葉っぱの形をした付箋に来場者それぞれの意見書いてもらい、アートを協働で製作。参加者数：7月 80 名、9月 50 名、10月 70 名 3) おろいちマルシェゆるキャラ総選挙（9/8～10/13）：おろいち発の親しみを持って愛してもらえるキャラクターを第 7 回マルシェ（2024 年 9 月）と SNS (@oroi chi_marche9) で公募。大人から子どもまで幅広い年代の方が参加。応募総数：19 件。第 8 回マルシェ（10 月 13 日）で投票を実施。100 票を超える投票から大賞を選出。大賞以下 5 名に記念品として景品を郵送。投票参加者：105 人。 4) おろいちスタンプラリー（10 月 13 日） <p>10 月ということでハロウィンにちなんで、当日マルシェで実施した、ゆるきやら総選挙、コミュニティボード、野菜クイズ、遊び場の 4 つのスポットの中で 3 つを回り、野菜スタンプを集めるスタンプラリーを開催した。用意したプレゼント先着 30 個がすぐになくなり、追加のプレゼント 20 個を用意するなど大盛況に終わった。 参加者：100 名。</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッ フ	参加者
事業経過	24	6月	3	市場会議室	第1回実行委員会	16	
		7月	14	卸売市場	第6回マルシェ 年輪アートワークショップ・ 遊び場 コミュニティボード	16	18
		9月	8	卸売市場	コミュニティボード ゆるきやら公募	11	50 19
		10	13	卸売市場	年輪アートワークショップ・ 遊び場 コミュニティボード ゆるきやら総選挙 クイズラリー お菓子配布	26	33 70 105 100 50
		11	5	市場会議室	活動報告冊子の取材	6	
		12	17	関西学院大学	活動報告冊子レイアウト 打ち合わせ	6	
		2	28		活動報告冊子製作	8	500
目標の達成状況					・年輪アートワークショップ 参加者 51名 (目標の 60%) ・クイズラリー配布 100人 (目標 100%達成) ・大学生ボランティアの参画 89名 (目標の 100%) ・マルシェ活動報告小冊子製作 500部 (目標の 100%) 年輪アートワークショップについては、予想参加者を下回ったが、コミュニティボード (計 200名) やゆるきやら募集・投票 (124名) など、マルシェでの企画が多様になり、目標とした「協働によるマルシェの魅力の向上」については十二分に達成ができた。		
事業効果					大学生との協働することで、市場の解体材を活用したアートや遊び場の実現、ゆるきやら総選挙など、ユニークなイベントでマルシェを盛り上げることができ、魅力の向上につながった。また大学生によるインスタグラムでの情報発信により、市場の公式アカウントのフォロワー数増加に大きく寄与した。 市場で実施したコミュニティボードやゆるきやら総選挙では、多くの市民が「西宮の好き」や「西宮の特徴」を考える仕掛けがされており、西宮市への愛着の醸成にも一定の効果があった。インスタでの告知に反応して、子育て世代が多く 10月のイベントマルシェに訪れ、おろいちのよい PR になった。活動を記録した小冊子の配布により、おろいちで行われているイベントスペースの貸し出し事業「おろいちひろば」の周知にもつながった。		

補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	マルシェについては、10月の開催をもって、一旦終了となつたが、今後は「おろいちひろば」で実施されるイベントなどについての情報発信をSNSや広報誌を通じて継続し、広く市民に開かれた場としての市場としての社会的役割を果たしていきたい。
---------------------	---

【事業実施状況を示す写真等】

おろいちマルシェ活動記録写真

1. コミュニケーションボードの準備 (2024年7月14日 第5回マルシェ)



2. おろいち Family Village での年輪アートワークショップ

日 第5回マルシェ

(2024年7月14日)



3. ゆるきゃら純選挙での投票 (2024年10月13日 第8回マルシェ)



4. スタンプラリークイズ出題 (2024年10月13日 第8回マルシェ)



5. クイズラリーでのスタンプカード (2024年10月13日 第8回マルシェ)



**B-27 「公園を活用した多世代交流と健康づくり」=住民中心の活動推進へ
「継続は力ない」を定着させる活動にする／芦屋市 岩園自治会**

活動地域	<p>1 (芦屋) 市</p> <p>2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 :)</p>
協働団体	芦屋市地域福祉アクションプログラム推進協議会（市・地域福祉課、社会福祉協議会、聖徳園）、芦屋警察署、県警察学校、芦屋市消防署、芦屋大学、芦屋学園高等学校、甲南高校、どんぐり銀行、左官・木山氏、健康体操・藤沼氏、フルート演奏・伊藤幸子氏ほか
事業の目的	自治会が主体となり町内の公園を利活用した「市民が集う場所づくり」を継続し「賑わいの創出」を維持する。町内の保育所・幼稚園、高齢者をコアターゲットとして案内し、多世代交流の場として町民が誘い合って参加できる企画とする。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人々が集う場づくりを目的に、町内公園を舞台として楽しみのあるイベントを開催する。 ・自治会が畑を借りてサツマイモを栽培し、その芋を使って町内の公園で焼き芋にし参加者に食べていただく→植物を育てることから食するまでの一連の流れを理解し体験することを活動の一つの柱に置く。 ・次に公園清掃活動に参加することで町内の美化活動を意識付け、消防や警察の参加をえて、車いす体験や手作り担架体験、防災倉庫見学、消火訓練、パトカー参加にて配布する特殊詐欺防止への警鐘など防災・防犯意識を醸成する。 ・一方、高齢者向け健康体操や子供むけ光る泥団子遊び、どんぐり銀行をはじめ、大学生によるミニソーラーカー乗車体験等を計画し、集った人々が隙間なく楽しめる機会を提供することを企画。 ・今年は参加住民の方々に、より多くのスタッフの役割を担っていただき、役割を担うことで相互に知己を得ることを大きな狙いとする。 ・第4回となった今回は町外からの参加者が多く来ることが想定されていたため（ポスターやFB記事を見て、或いは岩園町内の知人から案内されてぜひ参加したいが良いか？という問い合わせが多く入った）、より多くの人々が交流でき、楽しめるイベントにしようと、町内住民を中心に関係する多くのスタッフ（自治会役員だけでなく若い世代も参加する環境を整えて）が取り組むことを企画した。

事業効果 (C)	<ul style="list-style-type: none"> 地域、行政、学校などの「ぐるみ」活動により生まれた"繋がり"や"面識"が、あらたな交流の始まりとなりことが再認識できた。 特に警察学校生のボランティア参加 12名（教官 2名含）、芦屋大学生 5名、芦屋学園高校生 12名、甲南高校生 3名の参加者はそれぞれが割り当てられたイベント持ち場での交流が、「初めての体験」ということもあり会話を通じて互いに興味を持ててた」との感想もあった。 地域と近隣各団体との大きな交流の場ができたことが大変貴重であった。 第 4 回となった今イベントは市内でも大変興味深くかつ「なぜ一自治会がここまで活動を可能にしているのか？」と注目されてきている。 「自分たちのまちでも同様の焼き芋会をやりたいが、ノウハウを教えて」とか活動のきっかけを問われることが多くなった。 当初から町内に限定することなく「福祉に関係する関係団体」を軸に、まちに隣接する学校などへの共同参加の声掛けが奏功したと評価できる。 今回参加された各団体、学校からは「来年もぜひ開催して、子供学生たちを参加させたい」と要望された。交流を望まれる地域として、できれば継続開催を願う次第である。
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望 (D)	<p>12月 2日の関係者連絡会議反省会から…</p> <p>①今企画は協力体制が確立され、また学校や関係諸団体との意思疎通もできて大成功だった。</p> <p>②一自治会の催事としては昨年にも増して規模が大きくなつたが、今後も同様規での開催（今年の規模が MAXとの意見もあり）を継続できるよう互いの協力を惜しまないことを確認した。</p> <p>③芋苗を植える所から収穫、焼き芋というイベントの設定では、異常気象への想定＝自然への対応が大変難しいことを改めて痛感させられた。 一方このような体験も「自然から学ぶよい機会だった」と前向きに受け止めることも確認した。</p> <p>④不足する芋は幸い市場で芋の購入ができたが、予算を大きく上回ることになった。このことは今後の企画に生かしたい。 しかし予算以上の経費発生には町内から余っている炭の提供を呼び掛ける等新たな繋がりも発揮する結果となつたことはよかったです。</p> <p>⑤自治会側では企画段階から役員以外の若い年代が加わり、発想の違いや手さばき＝イラスト作成や情報交換の速さ等…に目を見張る成果が得られた。 これを通じ今後も彼らと共に活動を広げていく事が、このまちにとっても重要なことを痛感した。是非この繋がりを育てていきたい。</p> <p>⑥今企画は来年にも継続することが決定・確認された。</p> <p>※その後 12 月 7 日の自治会役員会でも継続実施が承認された。また現在使用している畑が今年度末に解約されることとなり、事業継続のためには新規に畑を借りることが必要となり資金調達が新たな課題として発生することも確認された。当自治会は会費徴収をしていないため資金については継続して「県の助成金」が得られることを希望している。</p>

事業実施状況を示す写真



B-28 5・5フェスタ／芦屋市子ども会連絡協議会

活動地域	<p>1 (芦屋) 市</p> <p>2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 : 実施場所が神戸市の境に近いので、神戸からもけっこう参加される)</p>
事業の目的	<p>子どもの日にちなみ、子どもの健全育成を図り、世代間交流をしながら、子どもの日を祝う。いろいろな団体に協力いただき、スポーツや遊びの体験を通して、地域とのふれあいを促進する。</p>
事業内容	<p>(対象者、実施方法、周知方法等、取組みの具体的な内容)</p> <p>対象者 子ども (親子)</p> <p>実施方法 芦屋市青少年センター・体育館・運動場を全館借り切って、イベントを行う。だれでも参加可能。</p> <p>周知方法 ホームページ ちらし 8,000 枚を幼稚園、子ども園、保育園 小学校 中学校に配布 ポスター</p> <p>取組みの内容 スポーツ体験(卓球 バレーボール バドミントン サッカー ラグビー モルック ダンスなど) 手作りゲーム (スマートボール ミッキーダーツ 魚つり スト ラックアウト スーパーボールすくい お絵かき オセロ 昔あそび 折り紙 などのコーナー) パフォーマンス (バルーンアート 手品 地域ヒーロー) 防災(防災ゲーム) 防犯 他</p> <p>協力団体 特定非営利法人芦屋市スポーツ協会 地区子ども会 YO クラブ 心豊かな人づくり芦屋 OB 会 芦屋地区更生保護女性会 兵庫県プロフェッショナルダンス協会 芦屋マジッククラブ 明石高専防災団 防犯協会 あしや部 CGJ リュウ牙 風船工房 SAN スポーツマネジメント芦屋 芦屋モルック協会 キッチンカー(合同会社アクトノミー他)</p>

	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
実施経過 (A)	6	4	11	シンコースポーツ 青少年センター	関係者打ち合わせ	3	10
		4	22	シンコースポーツ 青少年センター	協力依頼 意向調査	2	
		4	23	市内	ポスター ちらし作成・印刷	5	
	4	25	市内		ポスター掲示	2	
		5	4	シンコースポーツ 青少年センター	市内幼保子・小・中にちらし 配布	2	12
		5	5	シンコースポーツ 青少年センター	各協力団体と打ち合わせ 準備	6	
					当日	200	900
目標の 達成状況 (B)	晴れて青少年センターの外につるした鯉のぼりがよく目立った。たくさんの親子が 参加してくれたが、例年よりは少し少なかった。						
事業効果 (C)	子ども会の子どもたちは コーナーを回り楽しむだけでなく、自分の属する子ども会のコーナーで、子ども店長として仕事を担当することによって、達成感、満足感も得られたと思う。就学前の子どもたちも店長として、コーナーの呼び込みをしたり、スタンプを押したりして、お手伝いができた。 今年初めて導入したキッチンカーも好評だった。 3つの中高校生グループもお互いに交流できていた。 楽しい経験を通して、子どもたちが大きくなっても、子どもたちのふるさと、芦屋が心に残ることを期待したい。						
補助金交付 終了後の事 業展開、 今後の展望 (D)	毎年5月5日の子どもの日に実施する55フェスタはすでに地域の行事として根付いている。毎年 前もっていろいろな地域団体に協力を依頼するが、すでに団体の行事として予定してくださっているところも多い。今後も子ども会と連携して活動していただけけるようネットワークを築いていきたい。 内容がマンネリ化しないように、新しい工夫も加えて、新しい協力者も開拓しながら来年も実施したい。						

事業実施状況を示す写真、チラシ等



**B-29 地域住民を対象とした「初秋のピアノロン」と
「NEW YEAR コンサート」/芦屋市潮見地区集会所運営協議会**

活動地域	1 (芦屋) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 :)					
協働団体						
事業の目的	地域住民の活動拠点のひとつである潮見地区集会所では、恒例行事等もマンネリ化しており、参加者も減少している。 地域には潜在的にクラシックファンが多いため、集会所にアップライトピアノを設置し高齢化の進んでいる地域住民の親睦と交流を図るとともに、集会所の利用率アップによるコミュニティづくりの促進を目的とした。					
事業内容	<p>1 初秋のピアノサロン(令和6年8月9日・日曜日) 潮見地区集会所でピアノ教室を主宰している北川喜久子さんとピアニストの井上恵さんの2人でピアノ演奏会を「魅惑のピアノデュオ」と銘打って開催した。曲目は星空のピアニスト、おおシャンゼリーゼ、ハイジュー、浜辺の歌など13曲で1時間20分にわたりピアノの独奏、連弾を披露した。 異常気象で高温が続き、夏の暑さにうんざりしていた地域住民への「清涼剤」であり、好評を博した。 事前に自治会など20ブロックに配布するチラシ、芦屋市の広報掲示板にもポスターを貼り出したところ110名の応募があり、会場のキャパシティの関係で1部と2部に別けて開催した。 参加者数 1部50人 2部60人 入場無料、先着40人にクッキー配布。</p> <p>2 NEW YEAR コンサート(令和7年1月25日・土曜日) 芦屋市東芦屋町でピアノ教室を主宰している藤本紀子さんと、ヴァイオリニストで日本センチュリー交響楽団の池原衣美さんをお招きした。チラシのタイトルは「NEWYEAR サロン」だが、いわゆる「新年のコンサート」。 まずヨハン・シュトラウスの青きドナウでスタートし、チャイコフスキーの白鳥の湖(情景)、さらには大作のメンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲第1楽章、キラキラ星変奏曲などと10曲をトーケを交えながら約1時間20分にわたって演奏し喝采を浴びた。 芦屋市の全集会所(13箇所)でこうしたクラシックの演奏会を企図したのは潮見地区集会所だけで、事前に用意したチラシやポスター、ライン(潮見集会所お友達)でPRした。 参加者数 44人 入場無料、先着40人にクッキー配布</p>					
実施経過 (A)	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数
						スタッフ 参加者
	6	9	8	潮見地区集会所 2階B室	初秋のピアノサロン	5 約110
	7	1	25	潮見地区集会所 2階B室	NEW YEAR コンサート	3 44

目標の達成状況 (B)	<p>季節の節目ごとに音楽イベントを開催。地域住民に、潮見地区集会所運営協議会のボランティア活動を再認識していただき、コミュニティの広がりと活性化に寄与できた。</p> <p>高齢者の参加者の多くから「よかった」「今度はお友達を連れてきます」との賞賛の声や継続を希望する声が多数寄せられ、一定の目的は達成した。</p>
事業効果 (C)	<p>潮見地区集会所のエリアとなる緑町、潮見町、若葉町は高齢者率の高い地域でありこれから超高齢化社会を迎えるにあたり、独居世帯の増加や孤独死などが懸念されるほか、東南海地震の切迫により地域の連帯がより求められている。コミュニティを醸成する意味でも、多数の地域住民が集まってくれたことで大きな効果を得ることができた。</p>
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望 (D)	<p>来年度は地元の若者にもアピールし、より世代間交流が深まるような取り組みにしたいので、事前のアンケート調査や各自治会への呼びかけをし、演奏内容を検討したい。</p> <p>資金面では参加費の徴収なども視野に補助金に依存しない事業運営に務める</p>

事業実施状況を示す写真



B-30 高校生が発見・発信する芦屋の魅力／あしや部

活動地域	1 (芦屋) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 :)
協働団体	
事業の目的・趣旨	芦屋市在住の中高校生が地元芦屋で活躍する場面を創出し、市や地域団体・企業と協働しながら、芦屋市の価値や魅力を高校生の視点で発見、発信していく。具体的には、市内の事業所の紹介、市内で活躍している方へのインタビュー、若者目線でのイベントの開催、市政への提言などを行いながら、魅力ある芦屋のまちづくりを行っていく。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・世界自閉症デーイベントボランティア (2024年4月2日) リードあしやで開催された自閉症をはじめとする発達障害に関する啓発の取り組みである Blue Event Day に子どもたちが遊べる場を提供した。また夕方からは芦屋市役所前でのライトアップブルー点灯式にも参加した。 ・ふれあいあしや部高校生カフェ@リードあしや (2024年4月7日) 芦屋さくらまつり当日に、リードあしやでふれあいカフェと縁日を開催した。 ・あしやゲーム広場 企画・運営 (2024年4月14日) こども家庭・保健センターで、あしや部主催でゲーム大会を企画、運営した。 ・ゴーゴーフェスタでの出店 (2024年5月5日) 芦屋市立体育館・青少年センタ催されたゴーゴーフェスタで、子供向けのストラップアウトを提供した。 ・モンブラン特集企画@ディスティネーション (2024年5月12日) 中高生の自主企画、モンブランを特集した記事を制作するための、洋菓子店を取材した。(ただし、この企画は来年度も継続して行うことになった) ・アサガオセミナーでの講演 (2024年6月8日) ・KiRa studio 主催 親子運動会ボランティア (2024年6月15日) 芦屋市立体育館で開催された親子運動会にボランティアスタッフとして参加した。 ・精道コミスク夏祭り、縁日の出店 (2024年7月20日) 精道小学校でコミスク主催の夏祭りに射的の出店を行った。 ・芦屋サマーカーニバルのボランティア (2024年7月27日) 第46回芦屋サマーカーニバルにボランティアスタッフとして参加した。 ・Ashiya Education Day in summerへの参加 (2024年8月2日) 芦屋市役所で開催された Ashiya Education Day in summer (教育トーク) に参加し、地域の方と教育について考えた。 ・芦屋浜夏まつり、縁日の出店 (2024年8月3日) 芦屋浜自治連合会主催の中央公園グラウンドで行われた芦屋浜夏まつりに縁日出店を行った。 ・ヨドコウ迎賓館訪問 with 芦屋観光協会 (2024年8月11日) 芦屋観光協会の方とともにヨドコウ迎賓館を訪問し、歴史や建築方式などについて学んだ。また、あしなび8号の表紙撮影も行った。 ・子ども会主催オセロ大会ボランティア (2024年8月25日) 子ども会連合会主催のオセロ大会に、ボランティアスタッフとして参加した。 ・あしなび第8号の発行 (2024年9月15日)

	<p>あしなび第8号（A4、20ページ、2,000部）を発行し、市内で配布した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/5、取材（2024年9月30日） JR芦屋駅の洋菓子店5/5の取材を行った。 ・セミナー「支援者や寄付収入の増やし方」（2024年10月3日） ひょうごボランタリープラザとNPO法人コミュニティ事業支援ネットが主催し、西宮市市民交流センターで行われた「地域づくり活動団体のためのエンパワメントセミナーvol.2『支援者や寄付収入の増やし方』」に参加した。 ・ラクラス芦屋取材（204年10月6日） ジュエリーショップのラクラス芦屋で取材を行った。 ・Teo hair コンサート取材（2024年10月20日） 東芦屋町の美容室Teo hairで行われたコンサートを取材した。 ・セミナー「Instagram目を惹く広報」（2024年10月27日） ひょうごボランタリープラザとNPO法人コミュニティ事業支援ネットが主催し、西宮市市民交流センターで行われた「地域づくり活動団体のためのエンパワメントセミナーvol.3『Instagram目を惹く広報』」に参加した。 ・アクアチプレッソ取材（2024年10月27日） ナポリタンピッツアのお店アクアチプレッソを取材した。 ・あしやつくるばの取材（2024年11月10日） 芦屋市立美術博物館前で開催されたART MARKET あしやつくるば 2024秋を訪問し、取材を行った。 ・松浜珈琲焙煎所取材（2024年12月26日） 松浜町にある松浜珈琲焙煎所を取材した。 ・芦屋珈琲舎取材（2024年12月28日） JR芦屋駅の芦屋珈琲舎を取材した。 ・ナンナカフェ取材（2025年1月15日） 西山町のナンナカフェを取材した。 ・あしふく、まんがステーション取材（2025年2月2日） 福祉センターに新たに設置されたまんがステーションの取材を行った。 ・あしなび9号表紙撮影（2025年2月2日） 芦屋市立美術博物館前であしなび9号の表紙撮影を行った。 ・あしなび9号発行（2025年2月24日） <p>あしなび第9号（A4、20ページ、2,000部）を発行し、市内で配布した。</p>
--	--

実施経過 (A)	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
	24	4	2	リードあしや	世界自閉症デーイベントボランティア	7	約40
		4	7	リードあしや	ふれあいあしや部高校生カフェ	10	約220
		4	14	福祉センター	あしやゲーム広場	15	約40
		5	5	市立体育館	ゴーゴーフェスタ出店	5	約200
		5	12	ディスティネーション	取材	2	2
		6	8	打出教育文化センター	アサガオセミナー	3	約20
		6	15	市立体育館	親子運動会ボランティア	5	約20
		7	20	精道小学校	精道コミスク夏祭り	10	約500
		7	27	芦屋浜周辺	芦屋サマーカーニバルのボランティア	5	
		8	2	芦屋市役所	Ashiya Education Day in summer		2
		8	3	中央公園	芦屋浜夏まつり	5	約200
		8	11	ヨドコウ迎賓館	ヨドコウ迎賓館訪問	7	
		9	30	5/5	5/5、取材	2	

	10	3	西宮市市民交流センター	セミナー「支援者や寄付収入の増やし方」		2
	10	6	ラクラス芦屋	ラクラス芦屋取材	5	
	10	20	Teo hair	Teo hair コンサート取材	5	約 15
	10	27	西宮市市民交流センター	セミナー「Instagram 目を惹く広報」	1	
	10	27	アクアチプレッソ	取材	3	
	11	10	市立美術博物館	あしやつくるば取材	2	
	12	26	松浜珈琲焙煎所	取材	3	
	12	28	芦屋珈琲舎	取材	3	
	25	1	ナンナカフェ	取材	3	
	2	2	福祉センター	まんがステーション取材	5	
	2	2	市立美術博物館	表紙撮影	8	
目標の達成状況 (B)	<ul style="list-style-type: none"> ・フリーペーパーを年2回発行（ページ数24ページ、発行部数2500部） →年2回発行、20ページ、2000部（印刷費高騰及び在庫削減のため、ページ数・発行部数を調整した） ・フリーペーパー配布箇所のべ75か所 →のべ100か所以上で配布にご協力いただいた。中高生メンバーの積極的な配布があった。また、店舗での配布以外にもイベントでも積極的に配布を行った。 ・応援会員 個人20人、団体20団体 →個人会員18人、団体会員13団体 →ただし、フリーペーパーへの広告掲載の効果もあり、複数口数での会員登録が多く、会費の徴収としては目標16万円のところ、22万円と目標を達成した。 					
事業効果 (C)	<p>参加率の高いメンバーは、市内に顔見知りが増え、市民としての意識が向上している。特にイベントへの出店は市民の方との交流が増えることで、地域の活性化に寄与している感覚を持っているようである。今年度は中高生メンバーだけでの取材が数多くあり、主体性・積極性が育っている。また、様々な事業所の方への取材によって、芦屋市での経営の魅力と課題、生き方の多様性に触れることができている。そういった点をフリーペーパーで発信できている。</p>					
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望 (D)	<p>補助金を活用してのフリーペーパーづくりが5年を経過した。このフリーペーパーづくりがあることで、中高生が自分たち自身の活動を振り返り、市民の方にどのように発信していけばよいのかを考える機会となっている。また、市民の方との交流も進んでいる。</p> <p>今年度までは、リードあしやにサポートをいただきながら活動を行ってきたが、団体の運営も5年を超えており自立した形での活動が求められているので、リードあしやだけでなく、あしふくやうちぶんなども活動の拠点として、よりメンバー同士の交流を促進しながら、市内の魅力発見・発信に努めていきたい。</p> <p>毎年恒例の活動も増えていく中、マンネリ化せずに新しいイベントへの参加や新たな事業所への取材などを進めていくため、中高生の興味・関心を聞き取っていきたい。今年度は高校三年生が多く、次年度は全体の人数が少なくなるので、入会メンバーが増えるよう働きかけを行っていきたい。</p> <p>次号は10号を迎えるので、これまでの卒業生との対談や市長との対談などを盛り込んでいきたい。</p>					

【事業実施状況を示す写真等】





B-31 芦屋国際芸術映画祭／芦屋国際芸術映画祭実行委員会

活動地域	1 (芦屋) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 :					
協働団体	芦屋神社、県立芦屋高校					
事業の目的・趣旨	日本、海外どこでも通用する映画というカルチャーを活用し、映画祭という多くの方に楽しんで頂けるイベントを通じて、芦屋市への集客、芦屋の魅力発信、芦屋の文化力向上に繋げる。 誰カメ部門（スマホで撮影した5分までの作品）も募集し、幅広い方々からの応募も心掛ける					
事業内容	9月21日～9月23日 ・ルネサンスクラシックス芦屋ルナホール（大ホール）を使った映画祭の開催 ・短編映画の品評を通じたクリエーターの発掘 ・地域の小学生との映画づくりを通じた芸術文化の発展、啓蒙活動 ・集客を行うイベントを通じて、生まれ育った地元への地域貢献、地域活性化 ・地域の学生（高校生）プラスバンド部などの演奏 ・キッズシネマの制作					
事業経過	年	月	日	場所	実施内容	参加人数
	6	4	4	オンライン	運営会議（以降、毎週実施）	スタッフ 9 参加者 0
	6	6	30	芦屋市立打出教育文化センター	キッズシネマオーディション	15 約 150
	6	7	26	芦屋市内	芦屋市の小中学性を中心とした出	30 約 80
			27	（山手中学、	演者が子どもだけの映画の撮影	30 約 80
			28	芦屋靈園、芦		30 約 80
			29	屋神社など）		30 約 80
	6	9	21	ルネサンスクラシックス芦屋ルナ・ホール（大ホール）	映画祭の実施 出展作品の品評 高校生による書道・吹奏楽部のパフォーマンス 授賞式 高島芦屋市長によるスピーチ	35 50 35 427 35 811
	目標の達成状況 今年度の目標は100%達成したと考える					
事業効果	芦屋市の魅力発信ができた 芦屋市への集客が行われた 市民の楽しめるコンテンツを創出した 近隣の商業店舗への送客ができた					
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	来年度も実施時期を変更して、より規模を拡大し実施予定。 キッズシネマの充実 出展作品の拡大 より来場者が楽しめる、イベント当日のコンテンツを強化 飲食エリアを設置するなどを検討					

【事業実施状況を示す写真等】

9.21 [SAT] 開場/13:30

13:00 → 17:00
柏キッズシネマーティングル
ワークショップ
映画「今日は誰かの誕生日」上映

会場 柏市民センター
総観
参加費 300円/1組(子供料金/先着順)

お子様に迷ったため参加登録料金を貰らせていただきました。
またお二兄妹をお待ちしております。

PROGRAM

- 映画「今日は誰かの誕生日」上映
企画・監督・脚本・撮影監督/
李暎・脚本・脚本監修
- 映画「ノーボーダーズ」
日曜上映
- 初歩教育とキッズショーライブについての講演
(ALMP実行委員)
- 後輩で考える演技教育
ゲスト 横田カノン(俳優)



9.22 [SUN] 開場/13:30

開演／オープニングアクト
14:00 ロングランシアザイ
祭りの屋根高松・青島・青島・パフォーマンス

14:20 プレーフィッシュ部門
作品トレーーー上映＆監督紹介

14:45 潜カメ部門(日本映)上映

15:30 潜カメ部門(日本映)上映



9.23 [MON] 開場/10:00

10:30 開演／オープニング

10:40 [第1部]コンペティション部門
ノミネート作品上映 No.1~4
12:30 短休憩

13:30 [第2部]コンペティション部門
ノミネート作品上映 No.5~8

15:00 [第3部]コンペティション部門
ノミネート作品上映 No.9~11
16:20 観客賞投票/小休憩

16:40 ロングランシアザイ

16:50 キッズショーライブ
映画「ノーボーダーズ」上映

17:25 キャスト・スタッフ登壇

17:40 コンペティション部門授賞式

18:30 芦屋市長・高島峻輔様 ご挨拶

18:45 エンディング

B-32 交流ふれあい事業／交流広場「すまいる浜風」

活動地域	1 (芦屋) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域（対象市町：どなたでも可）
協働団体	
事業の目的・趣旨	県民交流広場の助成金がなくなった今も、地域住民の力で、いろいろなイベントや交流事業、花壇の世話などを続けており、利用者も増えている。特に高齢者にお気軽にあつまつてもらえる広場づくりをめざしている。
事業内容	<p>（対象者、実施方法、周知方法等、取組みの具体的な内容）</p> <p>対象者 地域住民（どなたでも可）</p> <p>実施方法 浜風集会所を使っていろいろなイベントを開催。だれでも参加可能なイベントとした。</p> <p>周知方法 ちらし、ポスターなど</p> <p>取組みの内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで唄おう ・映画会 ・ジャズコンサート ・すまいるサロン（料理教室、喫茶） ・健康体操 ・春祭り ・その他 落語会 勉強会 など ・園芸活動

事業経過	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	6	毎月	第1木曜	浜風集会所 以降同上	定例会	12	
		5	12		ジャズコンサート	8	32
		6	14		みんなで唄おう	5	30
		7	7		落語会	7	31
		8	18		映画会	5	19
		9	12		防犯講話	5	23
		10	25		みんなで唄おう	2	33
		10	26		ハロウィン	12	310
		11	17		映画会	5	11
		1	24		みんなで唄おう	5	33
		2	16		映画会	5	12
		随时	第2月曜		園芸活動	12	各 10
		毎月			すまいる茶論(喫茶 料理教室)	3	各 10
目標の達成状況					予定した活動はすべて実施することができた。 部屋が狭いため、もう少し集客が見込めたせっかくのコンサートなども定員を30名にせざるをえなかったのが残念であった。		
事業効果					行事を楽しみにしておられる高齢者が多い。 高齢者の引きこもりが問題となっている中、高齢者が家から出て、人と交流できる機会を提供できている。		

補助金交付
終了後の事
業展開、今
後の展望

今後も続けていきたいと思うが、今年度は、みんなで唄おう、ジャズコンサート、落語に謝礼が発生し、収入以上の出費となった。毎回同時開催している喫茶の売り上げをすべて、能登の募金にしたので、収入が減ったこともある。来年度は参加費を値上げするか、謝礼の発生する行事を見直すかして、資金的に継続できる方法を探る必要がある。

【事業実施状況を示す写真等】



花祭活動



喫茶



5月12日 ジャズコンサート



7月7日 落語会



6月14日 みんなで唄おう



10月25日 みんなで唄おう

B-33 リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2024 芦屋／リレー・フォー・ライフ関西実行委員会

活動地域	芦屋市						
協働団体	NPO 芦屋市スポーツ協会、公益財団法人 日本対がん協会						
事業の目的・趣旨	がん患者さん支援・がん検診啓発チャリティイベント「リレー・フォー・ライフ（RFL）芦屋」企画・運営・開催並びに付随する諸活動を通して支援活動を行う。定期的ながん検診継続することをチャリティイベントを通して発信していく。また、がんサバイバーの情報交換の場として、がんサバイバーを支えていく場として、RFLを開催する。						
事業内容	がんサバイバー、ご家族、ご遺族をはじめ、すべての方々が対象となる。RFL当日は夜を越えて歩き続け、走り続けることで、がん征圧に向けての新たな希望を見出す。がん患者さんやそのご家族、ご遺族、支援者が集まり語り合える場所の提供。イベントを通して勇気と希望を与え、寄付金を募り、がん患者さん支援活動に充当する。						
事業経過	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
	24	4	11	付ンスタイル甲子園	黄色いレシートキャンペーンRFL開催告知	2	多数
			14	青少年センター	実行委員会定例会	15	
		5	12	“	“	10	
		6	2	“	“	10	
			4	WEB ミーティング	全国実行委員会交流会	20	
		7	1	教育委員会	芦屋市立公立学校へ開催通知	21	
			7	青少年センター	実行委員会定例会	0	
			9	WEB ミーティング	全国実行委員会交流会	15	
			20	芦屋市内	開催告知横断幕設置	4	
			26	市立芦屋病院	公開セミナーRFL開催告知	2	多数
	8		31	芦屋市役所	開催告知ポスター展	2	多数
		1	市立芦屋病院	ギャラリーコーナー 開催告知写真展	2	多数	
		2	青少年センター	実行委員会定例会	10		
		4	神戸新開地喜楽館	RFL寄席	10	180	
		10	WEB ミーティング	全国実行委員会交流会	15		
		9	14	芦屋市内	市内掲示板 開催告知掲示	6	
			5	芦屋市内	資材搬入	6	
			7	川西運動場	RFL J 2 0 2 4 芦屋開催	200	1800
			8	“	“		300
			15	芦屋キャナルパーク	RFL釣り大会	20	
	10	6	青少年センター	実行委員会定例会	15		
	11	3	チキンジョージ	大人の文化祭 RFL告知	8	150	

B-34 With コロナの芦屋市における商業活性化事業（第 11 回芦屋バル） ／芦屋バル実行委員会

活動地域	1 (芦屋) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町 :)						
事業の目的	5 年ぶりの開催を機に、市内の商業関係者に声掛けをおこない、協力して市内に賑わいを取り戻す。また、これまで市内の市民、商業関係者、NPO で実行委員会を作り、運営をおこなってきたが今回からは大学とも連携し、学生や若者の参加にも力を入れ、継続的な発展が出来る新たな実行委員会体制の構築にも努める。						
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第 11 回芦屋バルの開催 バル当日 : 令和 6 年 5 月 25 日 8:30~27:00 バル参加店 41 店舗 後バル : 令和 6 年 5 月 26 日~6 月 1 日 2. ニーズ調査 令和 6 年 4 月 1 日~7 月末 神戸学院大学関谷ゼミ（経済学部）によるバルに参加に対するアンケート調査を実施。 3. 人流調査 市内のバル参加店に人流測定機器を設置し、バル当日とその後の市内の人の移動履歴を測定 						
実施経過 (A)	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
	スタッフ	参加者					
	6	4	3	ZOOM	芦屋バル実行委員会 参加店募集・販促物準備 協賛企業募集	11	
			25	市内	前売りチケット販売開始		
		5	9	大池町	ボランティア説明会	2	1
			24	船渡町	バル事前準備	2	
			25	市内全域	第 11 回芦屋バル開催 参加者アンケート実施 人流調査開始	20	1,517
			26	市内全域	後バル開始	10	
		6	1		後バル終了 参加者アンケート終了		132
			30		人流調査終了	2	77
	7	31	大池町	実行委員会	11		
	8	9	大池町	残務処理	3		
		31		事業完了			

目標の達成状況 (B)	<p>目標 ①イベント参加店 40店以上確保（内、新規参加店10店以上参加） ②バル公式インスタグラムのフォロワー数 1,200人以上</p> <p>結果 ①イベント参加店41店（内、新規参加店24店） ②インスタグラムフォロワー数 1,282人（R6.08.27時点）</p> <p>達成状況 ①②ともに当初の目標を達成しました。</p>
事業効果 (C)	<ul style="list-style-type: none"> 市内外の方に、イメージでなく等身大の芦屋市を確認してもらえた 新型コロナの行動規制後、初のイベント開催ができ、市内の様々な場所を多くの方に散策していただけた。 市内の商業関係者の連携強化ができた 今回は、新規参加店が半数以上の24店と新旧の入れ替わりが大きかったが5年ぶりに市内のお店を訪問し、連携が図れた。 地域活性化事業を継続して実施するための運営母体への若者の参加促進 大学と連携し大学生に運営の手伝いをおこなってもらい、今後のイベント開催について学生との意見交換もできた。 企業、大学と連携した客観的データに基づく分析やニーズの確認ができた 今回は、大学と連携しイベント参加者へのアンケート調査をおこない、同時に参加店に人流調査の機器を設置してもらい、バル当日とイベント非開催日の市内の人流を企業に調査してもらうなど、次回以降の開催に向けたデータ収集をすることもできた。
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望 (D)	<p>これまで1年に1回の芦屋バルと音楽イベントのアシオトを単独開催してきたが、今回は音楽イベントのアシオトは実施せず、芦屋市住宅公社がおこなったJAZZコンサートとを互支援の形で同日開催の形をとった。</p> <p>この連携は、次年度以降の開催も続けていく方向で双方合意を得ている。</p> <p>さらに、今後は市内で環境美化活動や地域の活性化活動などをしている複数の団体や市民との連携を強化し、バル開催日に市内でバル以外の文化イベントなども同日開催することで、これまで以上に幅の広い層の参加者に対し、イベントのPRをしていくと共に、市民や企業からの寄付や支援の受け入れにも力を入れ、運営資金の基盤強化につなげていきたいと考えている。</p>

事業実施状況を示す写真



兵庫県阪神南県民センター 県民躍動室 県民課

〒660-8588 尼崎市東難波町 5-21-8

TEL: 06-6481-4397／FAX: 06-6482-0579